事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務事業の	の計画					
事務事業名	ギアテー:	7 -	コート管理運営事業	会計区分		01	一般会	計	
子切于 木山	1 1 7 —	^-		款項目コード(款-項-	目) 9	_	8	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	少) 2	_	31	_	73
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	千丁テニスコートの利用扱い施設消耗品の補充・施設老朽箇所等の補修・光熱水費(上下水道、電		を維持するため、以下の業務を行う。 科)の支払い						
実施手法	● 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補助	助金支出	である場合	合に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市化	本育	施設条例及び施行規則、八代市スポー	ーツ振興計画他					
市 类 批 即	開始年度		終了年度	Ę	法令による実施	施義務			
事業期間	合併前		未定		(該当欄を選	建択)	• 2	義務では	ない

			2	(Do) 事務	事業の実施	拖					
				i対象年度0	り事業内容	!等					
	対 象 (誰·何を)										
	Ę	事業内]容(手段、方法等)		成果目	標(どのような	対果をもたら	らしたいのか)			
(需 (平成	28年 登 1,4 料 1	千丁コミュニティーセンターと総合体育館で行ってい 度決算額) 1,489,834円 74,714円 350,000円、光熱水費 91,714円、消耗品費 33,000 : 15,120円				が、安全で安小加や各種大会 があるである。 である。				
	コスト	推移		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込	
		事	業費(直接経費) (単位:千円)	895	1,305	1,490	1,273	1,273	1,273	1,273	
	ı	Г	国県支出金								
	ı	財源	地方債								
	ı	内部	その他特定財源(特別会計→繰入金)	565	618	635	570	570	570	570	
	ı		一般財源(特別会計→事業収入)	330	687	855	703	703	703	703	

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用可能日数	В	計画	-	363	363	364	363	363
事業)		Н	実績	363	363	363	364	363	-
മ	2			計画	-					
活動指標 (活動量・実績)	2			実績						-
σ	3			計画	-					
	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用者数	利用者数の増減により、成果の達成度合いが判断できると考えられるため、	,	計画	-	8300	8300	8300	8000	8000
成果指標 もたらそうとする効果・			め、成果指標として設定する。	~	実績	8239	7993	13781	7970	7530	-
	2	使用料収入	使用料の増減により、施設がどのくらい利用されたかを判断できると考え	円	計画	-	516000	516000	516000	560000	560000
			られるため、成果指標と して設定する。	1,	実績	481600	500400	505200	552000	565800	_
成 果	3				計画	-					
の数値化	(S)				実績						_

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	heck〉事務事業の自己評価							
着眼点	チェック	判断理由						
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ						
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健 康増進を図ることができるため、市が事業主体となる						
ないか)	妥当でない	ことは、妥当である。						
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	利用者数及び使用料収入の増減はあるが、これまでの 推移を比較するとおおむね順調である。						
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である							
	有効でない							
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、市直営で管理運営をし、地域住民の利用だけでなく、各種大会も開催されているため、将来的には、民間事業所等の能力を活用しつつ、サービスの向上を図るため、指定管理者制度等の導入検討や、類似施設との管理運営の統合・連携によるコスト削減が可						
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	能かどうかも検討必要がある。						

		4	(Action)事務事業の方向性と改革i	改善	
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施 ●	3 市による実施(民間委託の技	拡大・市民等との協働等)
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の公の施設として、利用者が安制度の導入についても、検討	全で安心して利用できるよう、施設の総	維持管理に努める。また、	今後は、指定管理者
外	ト部評価の実施	有:外部評価		実施年度	平成27年度
改	H28進捗状況				
改善進捗状況等	H28取組内容				
			(委員からの意見等)		
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。			

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			-	l (Plan) 事務事業	の計	画						
事務事業名	 千丁グラ	ウトル	じ管理温	音音士		会計区分			01 一般:	会計		
テクテネロ	1 1 7 7	, , , , ,		白乎不	款項	[目コード(款−項−目	9	_			3	
	基本目標(章)	2 郷	土を拓く	人を育むまち	事業	コード(大-中-小	2	_	31	31 —		
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3 ス	ポーツに	親しめる環境づく	J		基本目標					
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1 ス	ポーツの	推進	ŕ	総合戦略での 位置づけ	施策大項目					
	具体的な施策と内容	4 ス	ポーツ活	動を広げる環境づくり			施策小項目					
事務事業の概要 (全体事業の内容)	千丁グラウンド(東グラウ: ・施設消耗品の補充 ・施設老朽箇所等の補修 ・各保守点検業務委託(き ・光熱水費(上下水道、電 ・燃料費(ガソリン代)の支	5生広場 気料)σ	易管理委託		するために、以下の業務を行う。							
実施手法	〇 全部直営	● 一部委託 ○ 全部委託										
(該当欄を選択)	○ その他()					
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	こてが	補助金支	出である場	合に記入。	
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市代	体育施訂	設条例及び	「施行規則、八代市スポ	・一ツ振	長興計画他						
声光 如目	開始年度			終了年	度		法令による実	施義和	_务 O	1 義務で	ある	
事業期間	合併前			未定			(該当欄を選	選択)	•	金支出である場合に記入		

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 千丁グラウンド利用者 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 千丁グラウンド利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に努めると 受付業務は、千丁コミュニティーセンターで行っている。 ともに、利用者数の増加や各種大会が多く開催されるよう維持運営を行う。 (平成28年度決算額) 1,154,866円 (歳出項目) 需用費 803,956円 (修繕料 397,440円、光熱水費 208,928円、燃料費 5,100円 消耗品費 192,488円) 原材料費 8,910円 委託料 210,000円 (西グラウンド芝生管理 210,000円) 報償費 132,000円 (除草作業 132,000円) コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 1,003 1,258 1,155 861 861 861 861 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 231 269 264 250 250 250 250 訳 般財源(特別会計→事業収入) 772 989 891 611 611 611 611

千丁グラウンド管理運営事業Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用可能日数	B	計画	-	363	363	364	363	363
事業	0		Н	実績	363	363	363	364	363	-
σ	2			計画	-					
活動指標 (活動量・実績(2			実績						_
(1)	3			計画	-					
	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	(1)	利用者数	利用者数の増減により成果の達成度達成度合いが 判断できると考えるた	,	計画	-	42000	42000	43000	40000	40000
成果指標 もたらそうとする効果・成果の数値化			め、成果指標として設定する。	~	実績	41802	39903	41956	36997	29580	-
	2	使用料収入	使用料の増減により施設がどのくらい利用されたか判断できると考えるため、成果指標として設定する。	円	計画	-	139000	139000	143000	180000	180000
	2			1	実績	138200	135400	142900	178550	171900	-
	3				計画	-					
	3				実績						_

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健
ないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	有効である	H28年利用者数は、熊本地震の影響で減少してしているも、使用料収入は、ほぼ横ばいである。また、当施設は千丁西グラウンドは51年、千丁東グラウンドは38
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 概ね有効である	年を経過ししており、計画的な補修などが必要であ る。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、市直営で管理運営し、地域住民の利用だけでなく、各種大会も開催されているため、将来的には、民間事業所等の能力を活用しつつ、サービスの向上を図るため、指定管理者制度等の導入や、類似施設との管理運営の統合・連携によるコスト削減が可能か
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	どうかも検討必要がある。

千丁グラウンド管理運営事業 Page 2 of 3

		4 (Ad	stion)事務事業の方向性と改	革改善革改善	
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	● 3 市による実施(民間委託の	拡大・市民等との協働等)
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
		(今後の方向性の理由、改革改善の取組分の施設として、利用者が安全で制度の導入についても、検討して	安心して利用できるよう、施設	の維持管理に努める。また.	、今後は、指定管理者
夕	ト部評価の実施	有:外部評価		実施年度	平成28年度
改	H28進捗状況	3. 現状推進			
改善進捗状況等	H28取組内容	利用者が安全で安心して利用できる。	よう、施設の維持管理に努めた。		
		41.	(委員からの意見等	(
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。			

千丁グラウンド管理運営事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

	1 (Plan) 事務事業の計画												
事務事業名	会 级 <i>合片</i> :	= -	ウンド管理運営事業	会計区分			01 一般会	計					
学切于 未有	現元本のログ	<i>)</i> .	/ノド日母母の一	款項目コード(款-項-	目) 9	_	8	_	3				
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	75				
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標								
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目								
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目								
事務事業の概要 (全体事業の内容)	鏡総合グラウンド(グラウ: に、以下の業務を行う。 ・施設消耗品の補充 ・施設老朽箇所等の補修 ・各業務委託等 ・水道料、電気料、電話料		・武道館・体育館・テニスコート・プール の支払い	•相撲場•夜間照明	・北新地グラウン	ンド) σ.)利用環境	きを維持す	るため				
実施手法	〇 全部直営		● 一部委託	〇 全部委託									
(該当欄を選択) 	○ その他()								
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てがネ	補助金支出	である場	合に記入。				
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市(体育	施設条例及び施行規則、八代市スポー	ーツ振興計画 他									
事業期間	開始年度		終了年度	Ę	法令による実施	施義和	务 0 1	義務であ	58				
尹未州间	合併前		未定		(該当欄を選	【択)	• 2	義務では	はない				

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 施設利用者(グラウンド・武道館・体育館・テニスコート・プール・相撲場・夜間照明・北新地グラウンド) 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 施設利用者が、安全で安心して利用できるよう維持管理に努めるとともに、利 受付等は、鏡文化センター及び総合体育館で行っている。 用者数の増加や各種大会が、多く開催されるように管理運営を行う。 【平成28年度決算額】18,526,812円 (歳出項目) 需用費 9,646,287円 (光熱水費:5,304,880円、修繕料:3,639,559円、消耗品費:690,122円、ガソリ ン代11,726円) 役務費 287,420円 (電話料:111,740円、浄化槽他検査料:175,680円他) 委託料 7,976,357円 (施設管理:5,083,231円、鏡プール監視業務:1,443,420円他) 使用料及び賃借料 2,280円 備品購入費 614,468円 コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 13,153 13,698 18,527 15,804 15,804 15,804 15,804 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 3,018 3,086 2,745 3,061 3,061 3,061 3,061 訳 般財源(特別会計→事業収入) 10,135 10,612 15,782 12,743 12,743 12,743 12,743

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用可能日数	B	計画	-	365	365	366	365	365
事業の活動量・実績の			Н	実績	365	365	365	365 366	365	-
	2			計画	-					
				実績						_
	3			計画	-					
	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	(1)	利用者数 (全施設)	利用者数の増減により成果の達成度達成度合いが判断できると考えるた	,	計画	-	80000	108000	108000	100000	100000
もたらそうとす			め、成果指標として設定する。		実績	79136	107482	99245	95532	110292	-
	2	使用料収入 (施設使用 料・夜間照明	使用料の増減により施設がどのくらい利用されたか判断できると考えるた	円	計画	-	2385000	2650000	2750000	290000	290000
成果指標	2	使用料)	め、成果指標として設定 する。	С	実績	235940	2605280	2718580	2844880	3153410	-
成 果	3				画信	-					
	(S)			実績						-	

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健
ないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	平成28年度は、熊本地震の影響で、県央からの利用者 数増に伴い、使用料収入も増であった。これまでの推 移を比較するとおおむね順調である。
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、市直営で管理運営し、地域住民の利用だけでなく、各種大会も開催されているため、将来的には、民間事業所等の能力を活用しつつ、サービスの向上を図るため、指定管理者制度等の導入や、類似施設との管理運営の統合・連携によるコスト削減が可能か
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	どうかも検討必要がある。また、H27年度より管理人 を配置しているが、今後は受付等管理体制の見直しが 必要である。

		4 (A	action)事務事業の方向性と改革	直改善		
	今後の	1 不要(廃止)			施(民間委託の抗	広大・市民等との協働等)
(方向性 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実	施(規模拡充)	
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等		で安心して利用できるよう、施設 <i>0</i> 開始など管理体制の見直しを図ると			導入に向け、関係機
夕	部評価の実施	有:外部評価			実施年度	平成28年度
改	H28進捗状況	3. 現状推進				
改善進捗状況等	H28取組内容	利用者が安全で安心して利用できる	らよう、施設の維持管理に努めた。			
	軍審査に伴う常任 資会における意見 等	特になし。	(委員からの意見等)			

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務事業(の計画					
事務事業名	古四:雷	H /.	公園管理運営事業	会計区分			01 一般会	計	
学 物学术 口	宋 将 连 3	W 7	7图目在住民事来	款項目コード(款-項-	9	でてが補助金支出である場合に記 で表務 ○ 1 義務である	3		
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	را <u>)</u> 2	_	31	_	76
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節)【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	東陽運動公園の利用環境・施設消耗品の補充・施設消耗品の補充・施設老朽箇所等の補修・各保守点検業務委託(管・光熱水費(電気料)の支								
実施手法	〇 全部直営		● 一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てがネ	補助金支と	出である場合	合に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市(体育	が施設条例及び施行規則、八代市スポールでは、	ーツ振興計画他					
声 类	開始年度	終了年度	ŧ	法令による実力	拖義剂	_务 O	義務であ	58	
事業期間	合併前		未定		(該当欄を選	【択)	• :	2 義務では	はない

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 東陽運動公園施設利用者 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 受付等は、東陽コミュニティーセンターと総合体育館で行っている。 東陽運動公園利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に努めるとと もに、利用者数の増加や各種大会が多く開催されるよう管理運営を行う。 (平成28年度決算額) 621,365円 (歳出項目) 需用費 86,294円 (光熱水費 70,364円、消耗品費 15,930円) 報償費 25,000円 (除草作業 25,000円) 役務費 87,429円 (樹木剪定作業 87,429円) 委託料 257,143円 (施設管理委託 257,143円) 原材料費 26,730円 備品購入費 138,769円 コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 1,341 466 621 437 437 437 437 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 178 123 48 119 119 119 119 訳 般財源(特別会計→事業収入) 1,163 343 573 318 318 318 318

東陽運動公園管理運営事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用可能日数	П	計画	-	363	363	364	363	363
事業	事 **			実績	363	363	363	364	363	-
മ	2			計画	-					
活動指標 (活動量・実績))			実績						-
σ	3			計画	-					
	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1)	利用者数	利用者数の増減により、 成果の達成度合いが判断 できると考えられるた め、成果指標として設定	,	計画	-	9500	9500	9500	9000	9000
成果指標 もたらそうとする効果・成果の数値化			する。		実績	9326	6196	7392	8823	7460	-
	2		使用料の増減により、施設がどのくらい利用されたかを判断で切ると考え	円	計画	-	121000	121000	121000	130000	130000
	2		られるため、成果指標と して設定する。	11	実績	119100	110000	68510	123010	61600	-
	3				計画	-					
	3	<u> </u>			実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健
ないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	利用者数及び使用料収入の増減はあるが、これまでの 推移を比較するとおおむね順調である。
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	
XC=10X=11100 CE 00 X 7	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、市直営で管理運営し、地域住民の利用だけでなく、各種大会も開催されているため、将来的には、民間事業所等の能力を活用しつつ、サービスの向上を図るため、指定管理者制度等の導入や、類似施設との管理運営の統合・連携によるコスト削減が可能か
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	どうかも検討必要がある。

東陽運動公園管理運営事業 Page 2 of 3

	4 (A	ction)事務事業の方向性と改		
今後の 方向性 (該当欄を選択)	1 不要(廃止) 4 市による実施(要改善)		● 3 市による実施(民間委託 6 市による実施(規模拡充	
今後の方向性の 理由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の取るの施設として、利用者が安全で	組ともたらそうとする効果など)	の維持管理に努める。	
外部評価の実施	有:外部評価		実施年度	平成28年度
改 H28進捗状況	3. 現状推進			•
改善 進 が H28取組内容 況 等	利用者が安全で安心して利用できる	よう、施設の維持管理に努めた。		
決算審査に伴う常任	特になし。	(委員からの意見等	.	
次昇番宜に行う吊住 委員会における意見 等				

東陽運動公園管理運営事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務事業	<mark>の</mark>	計画					
事務事業名	事限スポーツ	いナ	ンター管理運営事業		会計区分			01 一般会	:計	
李切 李朱七	米樹八 仆	<i></i>	ングート任任日平木	款	な項目コード(款−項−目) 9	_	- 31 — 7	3	
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一小)		2	_	31	_	77
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づく	J		基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進		総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり)		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	・施設消耗品の補充・施設老朽箇所等の補修	当防言	環境を維持するために、以下の業務 投備、電気設備、舞台照明設備、発電 、料、重油代)の支払い			警備、清掃業務	₹)			
実施手法	〇 全部直営		● 一部委託	(D 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てがれ	補助金支出	である場	合に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市(体育	施設条例及び施行規則、八代市スポ	 "—"	ツ振興計画他					
事業期間	開始年度		終了年	終了年度			拖義系	务 0 1	義務であ	58
尹未規旧	合併前		未定	?		(該当欄を選	【択)	• 2	義務では	はない

評価対象年度の事業内容等 東陽スポーツセンター利用者 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 東陽スポーツセンター利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に努 受付等は、東陽コミュニティーセンターと総合体育館で行っている。 めるとともに、利用者数の増加や各種大会が多く開催されるよう管理運営を (平成28年度決算額) 4,322,193円 行う。 需用費 2,587,325円 (光熱水費 2,487,335円、燃料費 42,780円、修繕料 0円、消耗品費 57,210 円) 60,480円 委託料 1,547,056円 (清掃業務 749,584円、空調保守 369,360円、消防設備117,720円 他) 備品購入費 127,332円 コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) 8,755 7,915 (単位:千円) 7,569 4,322 8,472 7,915 7,915 国県支出金 財 地方債 源 その他特定財源(特別会計→繰入金) 1,031 816 50 417 417 417 417 訳 般財源(特別会計→事業収入) 7,724 6,753 4,272 8,055 7,498 7,498 7,498

2 (Do) 事務事業の実施

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	利用可能日数	П	計画	-	363	363	364	363	363
事業		п	実績	363	363	363	364	363	-
മ	2		計画	-					
活動指標			実績						-
σ	3		計画	1					
			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1)	利用者数	利用者数の増減により、 成果の達成度合いが判断 できると考えられるた め、成果指標として設定	,	計画	-	16000	16000	24000	500	6000
成果指標 もたらそうとする効果・成果の数値化)		する。		実績	15895	15268	23814	17297	1415	-
	2		使用量の増減により、施設がどのくらい利用されたかを判断できると考え	円	計画	-	645000	810000	950000	3000	200000
			られるため、成果指標と して設定する。	11	実績	643150	806620	945050	786840	11680	-
	3					-					
	3	<u> </u>			実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・本が事業されてもることが変異なり(図・間・民間と籍令) ブル	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健
・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	有効である	平成28年度4月熊本地震の影響及び改修工事のため利用できない状況にあり、利用者数・使用料収入とも減収している。
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 概ね有効である	
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、市直営で管理運営し、地域住民の利用だけでなく、各種大会も開催されているため、将来的には、民間事業所等の能力を活用しつつ、サービスの向上を図るため、指定管理者制度等の導入や、類似施設との管理運営の統合・連携によるコスト削減が可能か
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	どうかも検討必要がある。

		4 (Ad	ction)事務事業の方向性と改	革改善		
今後の		1 不要(廃止)	2 民間実施	● 3 市による実	施(民間委託の拡	大・市民等との協働等)
方向性 (該当欄を選		4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実	施(規模拡充)	
今後の方向 理由、改革司 取組等	女善の	(今後の方向性の理由、改革改善の取終公の施設として、利用者が安全で今後は、指定管理者制度の導入にまた、H28.4月に発生した熊本地が	。 安心して利用できるよう、施設 ついて、検討していく必要があ	る。		刃り組んでいる。
外部評価の	実施	有:外部評価			実施年度	平成28年度
改 H28進捗	状況	3. 現状推進			_	
善進 抄 H H H H H H H H H H		熊本地震の影響により、天井改修工	事を行っている。			
決算審査に伴 委員会におけ 等	う常任	特になし。	(委員からの意見等	等)		

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務事業の	D計画						
事務事業名	河俣山は	at 17.	場管理運営事業	会計区分		01 一般会計				
デ 切テネロ	АК ВТ	71XT1AWBILZEDTA			∄) 9	_	8	_	3	
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一/	小) 2	_	31	_	78	
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標					
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目					
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目					
事務事業の概要 (全体事業の内容)	施設老朽箇所等の補修	1000年	接持するために、以下の業務を行う。 曹管理、施設管理、除草作業) の支払い							
実施手法	〇 全部直営		● 一部委託	〇 全部委託						
(該当欄を選択)	○ その他()					
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補!	助金支出	である場合	今に記入。	
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市代	本育	施設条例及び施行規則、八代市スポー	-ツ振興計画他						
;	開始年度		終了年度	E	法令による実施義務 〇 1 章		義務であ	る		
争未别间	合併前		未定		(該当欄を選	選択)	• 2	義務では	:ない	

評価対象年度の事業内容等 河俣山村広場利用者 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 受付等は、東陽コミュニティーセンターで行っている。 河俣山村広場利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に努めるとと もに、利用者数の増加や各種大会が多く開催されるよう管理運営を行う。 (28年度決算額) 479,819円 需用費 44,072円 (電気料 16,190円、水道料 18,360円、消耗品費 9,522円) 委託料 387,527円 (管理委託 257,143円、浄化槽清掃 80,704円、浄化槽保守 49,680円) 報償費 25,000円 (除草作業25,000円) 備品購入費 23,220円 コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 459 500 480 500 500 500 500 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 12 13 13 11 11 11 11 訳 般財源(特別会計→事業収入) 447 487 467 489 489 489 489

2 (Do) 事務事業の実施

河俣山村広場管理運営事業 Page 1 of 3

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	利用可能日数	В	計画	-	365	365	366	365	365
事業		Н	実績	365	365	365	366	365	-
മ			計画	-					
活動量・ 実績			実績						-
標績の数	3		計画	-					
の数値化			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	(1)	利用者数	利用者数の増減により成果の達成度合いが判断できると考えられるため、	1	計画	-	2500	2500	4500	2600	2600	
もたら	0		成果指標として設定する。	Д	実績	2460	2658	4447	2510	1680	-	
そうとす	2	使用料収入	がどのくらい利用された かを判断できると考えら	В	画信	-	12200	13200	13200	13000	13000	
成果指標 ・とする効果・	2		れるため、成果指標として設定する。	円	П	実績	12200	13150	12850	12900	13000	-
成 果	(2)				画信	-						
数 値	の 数 値 化				実績						-	
16	〈記	述欄〉※数値化できない場合										

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健
ないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	有効である	利用者数及び使用料収入の増減はあるが、これまでの 推移を比較するとおおむね順調である。 利用者数の推移としては、地元の方の利用がほとんど
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 概ね有効である	であるため、安定している。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、地域住民の利用が多いことから、地域住民による管理や施設本来のあり方について検討していく必要がある。また山間部にあり類似施設がないことから、統合・連携によるコスト削減はできない。
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	

河俣山村広場管理運営事業 Page 2 of 3

	4 (A	ction)事務事業の方向性と改	革改善		
今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	● 3 市による実施	(民間委託の拡	広大・市民等との協働等)
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施	(規模拡充)	
今後の方向性の 理由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の取組 公の施設として、利用者が安全で 当面は市直営で管理運営を行って についても関係機関等と協議・検	で安心して利用できるよう、施設 こいくが、今後は、地域による管			、施設本来のあり方
外部評価の実施	有:外部評価			実施年度	平成28年度
改 H28進捗状況	3. 現状推進				
改善 養 進 排 H28取組内容 況 等	利用者が安全で安心して利用できる	よう、施設の維持管理に努めた。			
	44	(委員からの意見等	:)		
決算審査に伴う常任 委員会における意見 等	特になし。				

河俣山村広場管理運営事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

泉運動広場利用者

			1(Plan)事務事業(の計画					
事務事業名	皂電動	広士	易管理運営事業	会計区分		01	一般会	計	
デ 切テネロ	水连勒	小足別仏物日在足口サネ			目) 9	_	8	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	79
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	・施設管理消耗品の補充・施設老朽箇所の補修等・清掃業務委託		て利用できるよう施設の維持管理を行 農業集落排水使用料)の支払い	う。					
実施手法	〇 全部直営		● 一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補具	助金支出	である場合	合に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市代	体育	施設条例及び施行規則、八代市スポー	ーツ振興計画他					
古 类 切 即	開始年度		終了年度		法令による実	施義務	0 1	義務であ	る
事業期間	合併前		未定		(該当欄を選	選択)	• 2	義務では	:ない

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等

(誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 受付等は泉コミュニティーセンターで行っている。 泉運動広場利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に努めるととも に、利用者数の増加や各種大会が多く開催されるよう管理運営を行う。 【28年度決算額】703,494円 需用費 402,149円 (光熱水費:170,595円、修繕料:205,200円、消耗品費:26,354円) 委託料 230,065円(管理業務委託) 使用料及び賃借料 71,280円(農業集落排水使用料) コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 703 568 592 630 630 630 630 国県支出金 財 地方債 源 その他特定財源(特別会計→繰入金) 79 78 32 89 89 89 89 訳 般財源(特別会計→事業収入) 489 514 671 541 541 541 541

泉運動広場管理運営事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用可能日数	B	計画	-	365	365	366	365	365
事業			Ħ	実績	365	365	365	366	365	-
മ	2	2		計画	-					
活動指標 (活動量・実績(実績						_
標績の数	3			計画	-					
の 数 値 化	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	1	利用者数	利用者数の増減により成果の達成度合いが判断できると考えられることが、	,	計画	-	4000	4500	4500	4600	4600	
もたらる	0		成果指標として設定す る。	^	実績	3725	4445	4245	4566	6748	-	
そうとす	2	使用料収入	使用料の増減により施設 がどのくらい利用された かを判断できると考えら	В	画信	-	55800	95000	95000	60000	60000	
成果指標	2		れるため、成果指標として設定する。	円		実績	52000	91290	35990	55390	21900	-
成 果	(2)				画信	-						
数値化	化			実績						-		
	〈記	記述欄〉※数値化できない場合										

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健
ないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	有効である	利用者数及び使用料収入の増減はあるが、これまでの 推移を比較するとおおむね順調である。 利用者数の推移としては、地元の方の利用がほとんど
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 概ね有効である	であるため、安定している。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、地域住民の利用が多いことから、地域住民による管理や施設本来のあり方について検討していく必要がある。また山間部にあり類似施設がないことから、統合・連携によるコスト削減はできない。
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	

泉運動広場管理運営事業 Page 2 of 3

	4 (A	ction)事務事業の方向性と改	革改善	
今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	● 3 市による実施(民間委託の	拡大・市民等との協働等)
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性(理由、改革改善 取組等		で で安心して利用できるよう、施設でいくが、今後は、地域による管:		た、施設本来のあり方
外部評価の実施	有:外部評価		実施年度	平成28年度
改 H28進捗状況	3. 現状推進		•	-
改善 進 抄 H28取組内容 说	利用者が安全で安心して利用できる	よう、施設の維持管理に努めた。		
決算審査に伴う常 委員会における意 等		(委員からの意見等)	

泉運動広場管理運営事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度	平成28年度
--------	--------

			1(Plan)事務事業の	り計画					
事務事業名	左 問用	R AI	月施設管理事業	会計区分			01 一般会	計	
予切于 未口	Z III Z	スツ	加以日本于木	款項目コード(款-項-	9	_	8	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一/	2	_	31	_	80
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	夜間照明施設の利用環境・施設老朽箇所の補修・障害物等の撤去作業・光熱水費(電気料)の支		推持するために、下記の業務を行う。 、						
実施手法	● 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが	補助金支出	である場合	合に記入。
根拠法令、要綱等									
事業期間	開始年度		終了年度	E	法令による実施	拖義和	8 0 1	義務であ	ح
尹 未朔旧	合併前		未定		(該当欄を選	【択)	• 2	義務では	ない

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 夜間照明施設利用者 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 市内の夜間照明施設(小学校11箇所、中学校7箇所、運動広場2箇所)につ 利用者が安全で安心して施設を使用できるよう維持管理を行う。 いて、利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理を行う。なお、施設 利用の受付は各公民館で行っている。 (28年度決算額) 4,495,499円 需用費 4,495,499円 (光熱水費 2,451,779円、修繕料 2,036,880円 消耗品費 6,840円) コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 3,301 2,544 3,953 3,953 3,953 4,495 3,953 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 3,301 2,523 4,048 3,803 3,803 3,803 3,803 訳 21 般財源(特別会計→事業収入) 447 150 150 150 150

夜間照明施設管理事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用可能日数	П	計画	-	365	365	366	365	365
事業			I	実績	365	365	365	366	365	_
σ	2			計画	-					
活動量・実績				実績						-
標績の数	3			計画	-					
の数値化	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用人数	利用者数の増減により、成果の達成度合いを判断できると考えられるた	,	計画	-	48700	48700	48700	40000	40000
もたらる			め、成果指標として設定 する。	^	実績	48622	50558	47854	38906	41973	-
そうとす	2	使用料収入	使用量の増減により、施設がどのくらい利用されたかを判断できると考え	 円	計画	-	4150000	4250000	4250000	4000000	4000000
成果指標			られるため、成果指標と して設定する。	1,1	実績	4150000	4229500	4026160	3467370	3322140	-
成 果	3				計画	-					
の数値化	3				実績						_

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健
ないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である
◆活動内容は有効なものとなっているか	有効である	利用者数及び使用料収入の増減はあるが、これまでの 推移を比較するとおおむね順調である。 また、当施設は各学校施設等に併設しており、建設年
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 概ね有効である	度も違うため、老朽度の高い施設から計画的な補修等 が必要である。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス	● 現行どおりでよい	夜間照明施設は、各学校施設等に複数配置されている。 平成29年度から公民館がコミュニティーセンター化され、地域協議会などへ委託し、受付を行っている。
トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	

夜間照明施設管理事業 Page 2 of 3

		4 (Ad	tion)事務事業の方向性と改	革改善						
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	● 3 市による実力	施(民間委託の拡	大・市民等との協働等)				
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実力	施(規模拡充)					
	(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など)									
外	部評価の実施	有:外部評価			実施年度	平成27年度				
改	H28進捗状況	3. 現状推進		_						
改善進捗状況等	H28取組内容	利用者が安全で安心して利用できる。	よう、市が計画的に補修等を行い、	維持管理に努め	<i>t</i> = 。					
	事審査に伴う常任 会会における意見 等	特になし。	(委員からの意見等	E)						

夜間照明施設管理事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

				1 (Plan) 事務事業 <i>0</i>	D計画					
事務事業名	松	杏	给妆钞 敷	带車業	会計区分		0	1 一般会	計	
予切于 不口	***	7	品 ル 改 生	用于木	款項目コード(款-項-	目) 9	_	8	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く	人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	81
施策の体系	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに	親しめる環境づくり		基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの	推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	基本目標(章) 2 郷土を拓く人を育むまた。 施策の大綱(節)【政策】 3 スポーツに親しめる環境を合計画に 施策の展開(項)【施策】 1 スポーツの推進 具体的な施策と内容 4 スポーツ活動を広げる環 総合体育館の利用環境を整備するための事業を行う。 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※		動を広げる環境づくり		施策小項目					
	総合体育館の利用環境を	整	⋕するための₹	事業を行う。						
事務事業の概要 (全体事業の内容)										
実施手法	● 全部直営		〇一部	委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補	助金支出	である場合	に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市スポーツ振興計画、八代市のスポーツ施設整備及び充実等に関する指針									
市 类 加 問	開始年度			終了年度	E	法令による実	施義務	0 1	義務であ	5
尹未朔间	合併前			未定		(該当欄を選	選択)	• 2	義務では	ない

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 八代市総合体育館 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 【平成28年度決算額】 総合体育館小アリーナ安定器取替修繕 1,157,760円 市民のスポーツ活動の基盤となるスポーツ施設・機能の充実を図り、利用者 のニーズに合った環境づくりを図る。 総合体育館和室改修 796,824円 コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 25,964 3,661 1,955 4,955 17,317 108,400 国県支出金 地方債 4,900 源 その他特定財源(特別会計→繰入金) 訳 般財源(特別会計→事業収入) 25,964 3,661 1,955 55 17,317 108,400

総合体育館施設整備事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1			計画	_					
事業	•			実績						-
木の活動	2			計画	_					
活動指標 の活動量・実績	(2)			実績						-
標績の数	3		計画	_						
の 数 値 化	3			実績						-

単年度毎の事業であり、毎年事業内容が変わるため、数値化は困難である。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	利用きる		整備事業の成果として、 利用者数の増加が期待で きるため、成果指標とし て設定する。	, ,	計画	-	156,000	159,000	159,000	159,000	100,000
もたらそ	•		(政定する。		実績	155,972	154,125	154,073	154,360	90,539	-
う	2				計画	-					
成果指標 シとする効果・	2				実績						-
様・成果の	0				計画	-					
数値化	3				実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域 づくりを図るため、市民のニーズに合った施設整備を 行うとともに、施設の利便性・安全性を向上させ、市
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか	概ね妥当である	民が安心して利用できる施設づくりを目指す必要があることから、八代市総合計画の大綱である「スポーツ
・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	妥当でない	に親しめる環境づくり」に結びつき、事業の役割は薄れておらず、市が事業主体となることは妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	施設の老朽化などによる施設・設備の不具合が増加しているが、限られた財源の中で優先順位を付け、見直しを行いながら計画的に整備を行っているため、活動
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	内容は有効である。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス	● 現行どおりでよい	市民が利用する公の施設であるので、市が計画的に施設整備を行い職員が業務を遂行することから、人件費の見直しはできず、民間委託等もできない。 施設毎に必要な整備を計画的に行っているため、他事
・日的や形態が類似、角度する事業との概合・連携によりコストの削減は可能か・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	業との統合・連携はできない。

総合体育館施設整備事業 Page 2 of 3

		4	(Action) 事務事業の方向性と改	革改善
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等			.ポーツ活動など、多くの市民が利用していること 整備を進めていく。
外	ト部評価の実施	無		実施年度
改	H28進捗状況			
改善進捗状況等	H28取組内容			
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。	(委員からの意見等	等)

総合体育館施設整備事業 Page 3 of 3

4280696

事務事業票

所管部長等名 経済文化交流部長 辻本 士誠 所管課•係名 スポーツ振興課 管理係 課長名 下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

	1 (Plan) 事務事業の計画												
事務事業名	体育施設管理運営事業			会計区分		(01 一般会	-般会計					
予切于 未有				款項目コード(款-項-	-目) 9	_	8	_	3				
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	少) 2	_	31	_	70				
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標								
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目								
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目								
事務事業の概要 (全体事業の内容)	を行う。		ニティ広場・弓道場・相撲場・八代市民 払い・モニタリングの実施	プール・市民球場・	武道館の利用環	境を終	維持するカ	とめに、以	【下の業務				
実施手法	〇 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託									
(該当欄を選択) 	● その他(指定管理	理者((NPO法人八代市体育協会))								
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てがネ	甫助金支出	である場	合に記入。				
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市体育施設条例、及び施行規則、八代市スポーツ振興計画他根拠法令、要綱等												
事業期間	開始年度		終了年	变	法令による実施	 拖義矟	y O 1	義務であ	5る				
尹禾州间	合併前		未定		(該当欄を選	【択)	• 2	義務では	はない				

2 (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業内容等

対 象 (誰・何を) 総合体育館・スポーツ・コミュニティ広場・弓道場・相撲場・八代市民プール・市民球場・武道館利用者

事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)

平成28年度指定管理者更新手続きを行い、平成29年度から平成33年度ま での5年間、指定管理者であるNPO法人八代市体育協会が施設の管理運 営を行う。

(平成28年度決算額) 73,316,128円 指定管理委託料 67,150,000円

(弓道場 325,000円、相撲場 29,000円、スポーツ・コミュニティ広場 8,152,000円、市民プール 3,341,000円、市民球場 8,403,000円、総合体育館 36,129,000円、武道館 5,932,000円、市球技場 4,839,000円)

117,720円(PCB運搬料)

365,040円(総合体育館・スポーツ・コミュニティ広場) 3,103,110円(予約システム・支所施設受付・測量委託他) 委託料

備品購入費 1,659,096円(市民プール・総合体育館他)" 921,162円(熊本地震避難所運営補償金) 補償金

総合体育館・スポーツ・コミュニティ広場・弓道場・相撲場・八代市民プール・ 市民球場・武道館利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に努める とともに、利用者数の増加や各種大会が多く開催されることを目標とする。

그자	推移		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込	
П	事	業費(直接経費)	(単位:千円)	75,321	73,995	73,316	78,681	77,154	77,154	77,154
1		国県支出金				480				
1	財源	地方債								
1	内訳	その他特定財源(特別会計→繰入	金)	166	170	184	184	184	184	184
		一般財源(特別会計→事業収入)		75,155	73,825	72,652	78,497	76,970	76,970	76,970

体育施設管理運営事業 Page 1 of 3

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	利用可能日数		計画	-	363	363	364	363	363
事業	U	日	実績	363	363	363	364	363	-
മ	2		計画	1					
活動指標			実績						-
0	3		計画	-					
数值化			実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用者数	利用者数の増減により成果の達成度合いが判断できると考えられるため、	,	計画	-	272180	275000	279800	310000	250000
もたられ			成果指標として設定する。	\	実績	285932	284007	291959	305397	248286	-
そうとす	う				計画	-					
成果指標					実績						-
成 果	3				計画	-					
数値化	(S)				実績						-

3 (Check) 事務事業の自己評価 着眼点 チェック 判断理由 利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 ● 妥当である づくり及び健康増進を図ることを目的としていること ◆事業実施の妥当性を備えているか から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて 概ね妥当である つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 いないか 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健 康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい ないか) 妥当でない ことは、妥当である。 利用者数については、熊本地震や改修工事の影響で減 ● 有効である 少している。 また、利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民 の体力づくり及び健康増進を図ることを目的として施 ◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか 概ね有効である ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 設の管理運営を行っていることから、事業内容の見直 果をこれ以上伸ばすことはできないか) しの余地はない。 有効でない 民間事業所等の能力やノウハウを幅広く活用しつつ、 ◆実施方法は現行どおりでよいか 市民サービスの向上を図るために、指定管理者制度を ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず ● 現行どおりでよい 導入したことで、8施設の事業の統合・連携によるコ にコストを削減することは可能か スト削減及び人件費の削減につながっている。 ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費を削減することは可能か 見直しが必要 ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必 要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)

体育施設管理運営事業 Page 2 of 3

		4	(Action) 事務事業の方向性とは	坟革改善
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(ガド 注 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の施設の管理運営については、 ・ りつつ、よりよい管理運営に多	今後も指定管理者制度を活用し、さ	さらなる市民サービスの向上及び経費の節減等を図
夕	ト部評価の実施	無		実施年度
改	H28進捗状況			•
改善進捗状況等	H28取組内容			
			(委員からの意見:	等)
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。		

体育施設管理運営事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

	1 (Plan) 事務事業の計画												
事務事業名	西这本フポー	_^^/	わヽ。//2 (查理運営事業	会計区分		0)1 一般会	計				
予切 于不 口	ロタネヘハ		ピン ア !	5 任廷占于木	款項目コード(款-項-	目) 9	_	8	_	3			
	基本目標(章)	2	郷土を拓く	(人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	71			
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに	に親しめる環境づくり		基本目標							
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの	推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目							
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活	動を広げる環境づくり		施策小項目							
事務事業の概要 (全体事業の内容)	百済来スポーツセンターが ・施設管理消耗品の補充 ・施設老朽箇所の補修 ・施設管理業務委託 ・光熱水費(水道料、電気				拝持管理を行う 。								
実施手法	〇 全部直営		● 一音	『委託	〇 全部委託	美託							
(該当欄を選択) 	○ その他()							
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補	助金支出	である場合	合に記入。			
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市(体育	施設条例及で	び施行規則、八代市スポ-	ーツ振興計画他								
事業期間	開始年度			終了年度	法令による実施義務		S 0 1	義務であ	る				
尹未朔旧	合併前			未定	(該当欄を選択)		• 2	義務では	ない				

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 百済来スポーツセンター利用者 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 受付等は坂本コミュニティーセンターで行っている。 百済来スポーツセンター利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に 努めるとともに、利用者数の増加や各種大会が多く開催されるよう管理運営 【28年度決算額】670,519円 を行う。 需用費 147,283円 (光熱水費:137,083円、消耗品費:10,200円) 0円(汲取手数料) 委託料 442,236円(施設管理) 賃借料及び手数料 81,000円(仮設トイレリース料) コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 767 671 829 690 829 829 829 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 1 訳 般財源(特別会計→事業収入) 689 761 670 828 828 828 828

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	利用可能日数		計画	-	365	365	366	365	365
事業			実績	365	365	365	366	365	-
മ	2		計画	-					
活動指標			実績						-
標績の数	3		計画	1					
の数値化			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	(1)	利用者数	利用者数の増減により成果の達成度合いが判断できると考えられるため、成果指標として設定する。	, ,	計画	-	800	800	800	1600	800	
もたらそう	0				実績	790	653	364	1545	410	-	
٢	<u></u>	使用料収入	使用料の増減により施設 がどのくらい利用された かを判断できると考えら		計画	-	4100	4100	4100	6000	4100	
成果指標	2		れるため、成果指標として設定する。	円	実績	4050	2100	1200	5550	1100	-	
標・成果の	3				計画	-						
数值化	3				実績						_	
	〈記述欄〉※数値化できない場合											

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力づくり及び健康増進を図ることを目的としていることから、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	● 概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設である が、利用者の減少などで事業の役割はうすれてきてい る。しかしながら、市民の体力づくり及び健康増進を
ないか)	妥当でない	図る目的では、市が事業主体となることは、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	有効である	利用者数及び使用料収入の増減については、地元の方の利用がほとんどであるため、大会や練習の開催によるものである。特に、平成27年度は、消防関係の練習
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 概ね有効である	などで利用者・使用料収入増となった。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、地域住民の利用がほとんどであり、利用者 推移としては、減少傾向にある。今後、地域住民によ る管理や施設本来のあり方について検討していく必要 がある。また山間部にあり類似施設がないことから、 統合・連携によるコスト削減はできない。
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	

		4 (,	Action)事務事業の方向性と改正。	革改善	
	今後の	1 不要(廃止)	2 民間実施	● 3 市による実施(民間委託の	の拡大・市民等との協働等)
(方向性 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等		で安心して利用できるよう、施設のていくが、今後は、施設本来のあり		管理運営が可能かどう
夕	ト部評価の実施	無		実施年度	
改	H28進捗状況				•
改善進捗状況等	H28取組内容				
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。	(委員からの意見等)	

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務事業	の計画						
事務事業名	エナル	支給答	理運営事業	会計区分		01 一般会計				
争份争未有	一	月明日	在建 岛争未	款項目コード(款-項-	9	_	8	_	3	
	基本目標(章)	2 郷土	を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一/	2	_	31	_	72	
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3 スポ	ーツに親しめる環境づくり		基本目標					
おける位置づけ)	施策の展開(項) 【施策】	1 スポ	ーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目					
	具体的な施策と内容	4 スポー	一ツ活動を広げる環境づくり		施策小項目					
事務事業の概要 (全体事業の内容)	千丁体育館の利用環境を ・施設消耗品の補充 ・施設老朽箇所等の補修 ・各保守点検業務委託(消 ・光熱水費(電気料)の支	肖防設備、	ために、以下の業務を行う。 清掃業務)							
実施手法	〇 全部直営		● 一部委託	〇 全部委託						
(該当欄を選択) 	○ その他()					
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補助	金支出	である場合	合に記入。	
スポーツ基本法、八代市体育施設条例、及び施行規則、八代市スポーツ振興計画他根拠法令、要綱等										
事業期間	開始年度		終了年月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	法令による実施	施義務	0 1	義務であ	る	
尹未朔旧	合併前		未定	未定			• 2	義務では	ない	

2 (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業内容等 千丁体育館利用者 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 干丁体育館利用者が安全で安心して利用できるよう維持管理に努めるととも に、利用者数の増加や各種大会が多く開催されるよう管理運営を行う。 受付等は、千丁コミュニティーセンター及び総合体育館で行っている。 (平成28年度決算額) 2,737,127円 需用費 2,174,611円 (光熱水費 1,919,472円、修繕料 233,928円、消耗品費 21,211円) 委託料 495,086円 (施設管理 495,086円) 使用料及び賃借料 20,774円 (モップリース 20,774円) 備品購入費 46,656円 コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) 3,297 (単位:千円) 2,883 2,737 3,298 3,298 3,298 3,298 国県支出金 財 地方債 源 その他特定財源(特別会計→繰入金) 807 853 768 768 768 768 1,026 訳 般財源(特別会計→事業収入) 2,076 2,444 1,711 2,530 2,530 2,530 2,530

千丁体育館管理運営事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用可能日数	В	計画	-	363	363	364	363	363
事業)		Н	実績	363	363	363	364	363	-
മ	2			計画	-					
活動指標 (活動量・実績)	(2)			実績						-
標績の数	3			計画	-					
の 数 値 化	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	(1)	利用者数	利用者数の増減により、 成果の達成度合いが判断 できると考えられるた め、成果指標として設定	,	計画	-	17800	23000	23000	18000	18000
もたられ	0		する。		実績	17701	22174	12925	17925	21985	-
そうとす	<u></u>	使用料収入	使用量の増減により、施設がどのくらい利用されたかを判断できると考え		画信	-	636000	760000	760000	760000	775000
成果指標	2		られるため、成果指標と して設定する。	円	実績	635450	757250	507730	770230	951620	-
成 果	3				画信	-					
の数値化	3				実績						_

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Check)事務事業の自己評価							
着眼点	チェック	判断理由					
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	利用者が施設を安全で安心して利用でき、市民の体力 づくり及び健康増進を図ることを目的としていること から、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツ					
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	に親しめる環境づくり」や「スポーツの推進」に結び つき、大会や練習などで利用されている施設であり、 事業の役割は薄れておらず、市民の体力づくり及び健					
ないか)	妥当でない	康増進を図ることができるため、市が事業主体となる ことは、妥当である。					
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	利用者数及び使用料収入の増減はあるが、これまでの 推移を比較するとおおむね順調である。 また、当施設は38年が経過しており、計画的な補修等					
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	が必要である。					
	有効でない						
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	現行どおりでよい	当施設は、市直営で管理運営をし、地域住民の利用だけでなく、各種大会も開催されているため、将来的には、民間事業所等の能力を活用しつつ、サービスの向上を図るため、指定管理者制度等の導入検討や、類似施設との管理運営の統合・連携によるコスト削減が可					
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しが必要	能かどうかも検討必要がある。					

千丁体育館管理運営事業 Page 2 of 3

4 (Action)事務事業の方向性と改革改善								
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	● 3 市による実	施(民間委託の拡	太大・市民等との協働等)		
()	カーリュ 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実	施(規模拡充)			
今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など)								
外	部評価の実施	有:外部評価			実施年度	平成27年度		
改	H28進捗状況							
改善進捗状況等	H28取組内容							
(委員からの意見等)								
	[審査に伴う常任 会における意見 等	特になし。						

千丁体育館管理運営事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

	1(Plan)事務事業の計画											
事務事業名	スポーツ・コミ		ティ広場	齿 :10 数 供 車 業	会計区分				01 一般:	会計		
尹初尹 未石	スポープ・コマ-		- / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	他政策備爭未	款項目コード(款-項	[-目)	9	_	8	-	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く	人を育むまち	事業コード(大一中-	-小)	2	_	31	-	-	84
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに	親しめる環境づくり			基本目標	2	人をひき 気ある"	つけ、	人が ろ"	集う、活
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの	推進	総合戦略での 位置づけ)	施策大項目	1	交流人口	コの拡	大	
	具体的な施策と内容	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					施策小項目	3	スポーツ	ツーリ	JズムO	の推進
事務事業の概要 (全体事業の内容)	スポーツ・コミュニティ広場の利用環境を整備するための事業を行う。 併せて、スポーツ・コミュニティ広場に大規模大会の誘致が可能となるよう施設整備の事業を行う。											
実施手法	● 全部直営		〇 一部	逐 託	〇 全部委託							
(該当欄を選択)	○ その他()					
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが	補助金支	出であ	る場合	に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市ス	投整備及 び充実等	に関	する指針								
事業期間	開始年度			終了年	隻	污	よ令による実施	包養	務	1 義務	外である	3
尹禾州间	平成25年	叓		未定			(該当欄を選	択)	•	2 義務	多ではな	ない

主当	 其期間	開始年度		終了年度			法令による実施義 (該当欄を選択))	
7.4	CATIFI	平成25年度			未定		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	ごはない
			2	(Do) 事務	事業の実	拖				
			評価	対象年度の	り事業内容	等				
	対 象 准・何を		場							
		P容(手段、方法等)			成果目	標(どのような	対果をもたら	らしたいのか)		
デニル 駐車 駐車 郡 テニア 駐車 既 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 の の の の の の の の	「平成28年度決算額				のニーズに含	ーツ活動の基 合った環境づら ペーツ・コミュニ う。	りを図る。			
コス	ト推移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
	事	業費(直接経費)	(単位:千円)	357	63,302	246,668	52,715	18,000	18,000	18,000
		国県支出金								
	財源				60,100	218,800	21,500			
	内訳		金)			16,000	30,000			
		一般財源(特別会計→事業収入)		357	3,202	11,868	1,215	18,000	18,000	18,000

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1			計画	-					
事業	0			実績						-
$\boldsymbol{\sigma}$	2			計画	-					
活動指標 活動量・実績	۷			実績						-
標績の数	3			計画	-					
の数値化	3			実績						-

単年度毎の事業であり、毎年事業内容が変わるため、数値化は困難である。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用者数	整備事業の成果として、 利用者数の増加が期待で きるため、成果指標とし て設定する。	,	計画	-	47,200	47,400	47,400	47,400	48,500
もたら			Cax AC 9 %	^	実績	47,135	45,982	45,211	46,618	48,158	_
そうとす	2				計画	-					
成果指標 とする効果・					実績						_
標・成果の	2				計画	-					
の数値化	3				実績						_

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価			
着眼点	チェック	判断理由			
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域 づくりを図るため、市民のニーズに合った施設整備を 行うとともに、施設の利便性・安全性を向上させ、市			
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	日の			
ないか)	妥当でない	れておらず、市が事業主体となることは妥当である。			
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	施設の老朽化などによる施設・設備の不具合が増加しているが、限られた財源の中で優先順位を付け、見直しを行いながら計画的に整備を行っているため、活動			
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	内容は有効である。			
	有効でない				
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か	● 現行どおりでよい	市民が利用する公の施設であるので、市が計画的に施設整備を行い職員が業務を遂行することから、人件費の見直しはできず、民間委託等もできない。 施設毎に必要な整備を計画的に行っているため、他事			
・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か		施設母に必要な金舗を計画的に17つでいるため、他争 業との統合・連携はできない。			
・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要 				

_					
		4	(Action) 事務事業の方向性と	发革改善	
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の	拡大・市民等との協働等)
	ク阿性 (該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)) 6 市による実施(規模拡充)	
	を後の方向性の 由、改革改善の 取組等	市民が利用していることから、 また、交流人口の拡大や経済の う施設整備を行う。	取組ともたらそうとする効果など) ィ広場は、テニス関連スポーツイク、安全で安心な施設を維持しているの活性化等のため、スポーツ・コミートを増設し、計16面の人工芝テ	くためにも、市による施設整位 ミュニティ広場に大規模大会の	備を進めていく。 の誘致が可能となるよ
b	外部評価の実施	無		実施年度	
改	H28進捗状況				_
改善進捗状況等	H28取組内容				
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。	(委員からの意見	· 等)	

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			<mark>1(Plan)事務事</mark>	業の	D計画							
事務事業名	鏡総合グ [:]	5 7	かいに体設	敕偡重丵		会計区分			01 一般:	会計		
チ 切チ ボ ロ	90thc D /	<i>,</i>	ノンドル版文	正佣于木		款項目コード(款-項-	目) 9	_	8	_	3	
	基本目標(章)	2	郷土を拓く	人を育むまち		事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	93	
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに	二親しめる環境づ	くり		基本目標	2		つけ、人: やつしろ"	が集う、	活
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの	推進		総合戦略での 位置づけ	施策大項目	1	交流人口	1の拡大		
具体的な施策と内容 4 スポーツ活動を広げる環境 鏡総合グラウンド(グラウンド、武道館、体育館、テニスコート、				うくり		施策小項目	3	スポーツ	ツーリズ	ムの推	進	
事務事業の概要 (全体事業の内容)	鏡総合グラウンド(グラウ: の事業を行う。	鏡総合グラウンド(グラウンド、武道館、体育館、テニスコート、プー の事業を行う。						ウン	~)の利用	環境を整	備する	ため
実施手法	● 全部直営		〇 一部	逐託		〇 全部委託						
(該当欄を選択)	○ その他()					
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	こてが	補助金支	出である場	易合に記	入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市ス	スポ	一ツ振興計画	ī、八代市のスポーツ	/施設	整備及び充実等に	関する指針					
車業期間	開始年度			終了年度		法令による実	施義	務	1 義務で	ある		
平成27年度 未定				た定		(該当欄を選	選択)	•	2 義務で	はない		

事業期間	謂	開始年度		i	終了年度		法令による		〇 1 義務で	ある
平 木初11	₽)	平成27年度			未定		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	だはない
			2	(Do) 事務	事業の実力	瓶				
				対象年度0		_				
対 : (誰·何		八代市鏡総合グラウンド(グラウ	ンド、武道館、	体育館、テニ	スコート、プー	−ル、相撲場、	夜間照明、オ	と新地グラウン	ンド)	
		容(手段、方法等)					が果をもたら			
【平成28年 鏡武道館 材料検査	遠的	勺場整備工事 44,992,800円				一ツ活動の基合った環境づら	盤となるスポ くりを図る。 	一ツ施設・機	能の充実を図	19、利用者
コスト推和	移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
	事業	集費(直接経費) (〔単位:千円〕		9,407	44,994		2,500	28,000	23,000
		国県支出金								
	源	地方債				42,700				
	内訳	その他特定財源(特別会計→繰入金	:)					·		
		一般財源(特別会計→事業収入)			9,407	2,294		2,500	28,000	23,000

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1			計画	ı					
事業	•			実績						-
σ	2			計画	ı					
活動指標 活動量・実績				実績						-
標績の数	3			計画	-					
の数値化	(S)			実績			-			-

単年度毎の事業であり、毎年事業内容が変わるため、数値化は困難である。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用者数	整備事業の成果として、利用者数の増加が見込まれることから、成果指標	,	計画	-	80,000	108,000	108,000	108,000	108,000
もたらそ			として設定する。	^	実績	79,136	107,482	99,245	95,532	100,947	-
う	2				計画	-					
成果指標 シとする効果・					実績						-
様・成果の	3				計画	-					
の数値化	3				実績						-
16	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

3 (Check) 事務事業の自己評価 着眼点 チェック 判断理由 市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域 ● 妥当である づくりを図るため、市民のニーズに合った施設整備を ◆事業実施の妥当性を備えているか 行うとともに、施設の利便性・安全性を向上させ、市 ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか 民が安心して利用できる施設づくりを目指す必要があ ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて 概ね妥当である ることから、八代市総合計画の施策である「スポーツ いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい に親しめる環境づくり」に結びつき、事業の役割は薄れておらず、市が事業主体となることは妥当である。 ないか) 妥当でない 施設の老朽化などによる施設・設備の不具合が増加し ● 有効である ているが、限られた財源の中で優先順位を付け、見直 ◆活動内容は有効なものとなっているか しを行いながら計画的に整備を行っているため、活動 内容は有効である。 ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか 概ね有効である ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか) 有効でない 市民が利用する公の施設であるので、市が計画的に施 ◆実施方法は現行どおりでよいか 設整備を行い職員が業務を遂行することから、人件費 ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず ● 現行どおりでよい の見直しはできず、民間委託等もできない。 にコストを削減することは可能か 施設毎に必要な整備を計画的に行っているため、他事 ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス 業との統合・連携はできない。 トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費を削減することは可能か 見直しが必要 ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必

要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)

		4	(Action) 事務事業の方向性とこ	收革改善	
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡	太大・市民等との協働等)
((該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
	・後の方向性の 由、改革改善の 取組等		取組ともたらそうとする効果など) スポーツイベントや市民の日常的な 推持していくためにも、市によるな		民が利用しているこ
夕	小部評価の実施	無		実施年度	
改	H28進捗状況				
改善進捗状況等	H28取組内容				
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。	(委員からの意見	等)	

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

				1 (Plan) 事務事業の	D計画					
事務事業名	東陽スポーツ	11	八石二体	弘敕 儘車業	会計区分		(01 一般会	it	
学 份学术 石	米物へ小一	<i>-</i>	ンケール	政策備争未	款項目コード(款-項-	目) 9	_	8	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く	人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	94
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに	親しめる環境づくり		基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの	推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容 4 スポーツ活動を広げる環境づく 東陽スポーツセンターの利用環境を整備するための事業を行う。					施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	東陽スポーツセンターの利	可用亞	環境を整 備す	るための事業を行う。						
実施手法	● 全部直営		〇 一部	3委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てがネ	前助金支出	である場合	に記入。
スポーツ基本法、八代市スポーツ振興計画、八代市のスポーツ施設整備及び充実等に関する指針根拠法令、要綱等										
声 	開始年度			終了年度	<u></u>	法令による実施	施義務	O 1	義務である	5 -
事業期間 平成28年度 未気						(該当欄を選	選択)	• 2	義務では	ない

車	業期	問	開始年度		į	終了年度		法令による		〇 1 義務で	きある
7	*************************************) I PJ	平成28年度			未定		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	だはない
				2	(Do) 事務	事業の実	施				
				評価	対象年度0	り事業内容	等				
		象 何を〕	八代市東陽スポーツセンター								
	-		容(手段、方法等)				標(どのような				
(平	成28	3年度	決算額) 0円				一ツ活動の基合った環境づ		一ツ施設・機	能の充実を図	1り、利用者
٦;	スト指	៛移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
		事	業費(直接経費)	(単位:千円)				1,300	5,000	5,000	5,000
			国県支出金								
		源	地方債								
		内訳	その他特定財源(特別会計→繰入金	<u>È</u>)							
			一般財源(特別会計→事業収入)					1,300	5,000	5,000	5,000

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1			計画	-					
事業	•			実績						-
σ	2			計画	-					
活動指標 3活動量・実績(۷			実績						-
標績の数	3			計画	-					
の数値化	3			実績						-

単年度毎の事業であり、毎年事業内容が変わるため、数値化は困難である。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用者数	整備事業の成果として、 利用者数の増加が期待で きるため、成果指標とし て設定する。	,	計画	-	20,000	20,000	24,000	24,000	24,000
もたらそ			(改定する。	^	実績	15,895	15,268	23,814	17,297	1,415	-
う	2				計画	-					
成果指標 とする効果・					実績						-
様・成果の	3				計画	-					
の数値化	3				実績						-
16	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ************************************	● 妥当である	市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域 づくりを図るため、市民のニーズに合った施設整備を 行うとともに、施設の利便性・安全性を向上させ、市
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか	概ね妥当である	民が安心して利用できる施設づくりを目指す必要があることから、八代市総合計画の施策である「スポーツ
・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	妥当でない	に親しめる環境づくり」に結びつき、事業の役割は薄れておらず、市が事業主体となることは妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	施設の老朽化などによる施設・設備の不具合が増加しているが、限られた財源の中で優先順位を付け、見直しを行いながら計画的に整備を行っているため、活動
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	内容は有効である。
), C = 10), = 11 10) = 2 10 C 0 0 N /	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス	● 現行どおりでよい	市民が利用する公の施設であるので、市が計画的に施設整備を行い職員が業務を遂行することから、人件費の見直しはできず、民間委託等もできない。 施設毎に必要な整備を計画的に行っているため、他事
トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必 要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	業との統合・連携はできない。

_					
		4	(Action) 事務事業の方向性と改	革改善	
	今後の	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の	拡大・市民等との協働等)
(方向性 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等	八代市東陽スポーツセンター	の取組ともたらそうとする効果など) は、各種スポーツイベントや市民の な施設を維持していくためにも、市		
夕	部評価の実施	無		実施年度	
改	H28進捗状況				•
改善進捗状況等	H28取組内容				
	軍審査に伴う常任 負会における意見 等	特になし。	(委員からの意見等	等)	

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1 (Plan) 事務事業の	り計画					
事務事業名	友 問的	Z AI	月施設整備事業	会計区分			01 一般会言	t	
予切于 不口	TX (H) X	スツ	加以正備爭未	款項目コード(款-項-	∄) 9	_	8	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一/	小) 2	_	31	_	97
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標	2	人をひきつ 気ある"やつ		集う、活
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目	1	交流人口の	拡大	
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目	3	スポーツツ	ーリズムの	の推進
	夜間照明施設の利用環境を整備するための事業を行う。								
事務事業の概要 (全体事業の内容)									
 実施手法	● 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが	補助金支出	である場合	に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市ス	スポ	一ツ振興計画、八代市のスポーツ施設	整備及び充実等に	関する指針				
事業期間	開始年度		終了年度	E	法令による実施義務		務 〇 1	養務であ	8
尹未矧旧	平成28年原	吏	未定		(該当欄を選	択)	● 2	養務では	ない

	争耒共	別间	平成28年度			未定		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	きはない
				2	(Do) 事務	事業の実	施				
				評価	対象年度の	り事業内容	等				
		象 何を	夜間照明施設								
			容(手段、方法等)			成果目	標(どのような	対果をもたら	らしたいのか)		
第 4 第 2 2 村	六中 94,640	学校 円 学校 000円 査用		業務委託			一ツ活動の基合った環境づ	盤となるスポ くりを図る。	一ツ施設・機	能の充実を図	り、利用者
=	コスト扌	隹移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
	П	事	業費(直接経費)	(単位:千円)			25,997		29,000	33,000	
	п		国県支出金								
	п	財源	地方債				24,600				
		内訳	その他特定財源(特別会計→繰	入金)							
			一般財源(特別会計→事業収入)			1,397		29,000	33,000	

夜間照明施設整備事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1			計画	1					
事業				実績						_
σ	2			計画	1					
活動指標 3活動量・実績(実績						-
()	3			計画	-					
数値化	3			実績						-

単年度毎の事業であり、毎年事業内容が変わるため、数値化は困難である。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	利用者数(小 学校夜間照 明)	整備事業の成果として、 利用者数の増加が見込まれることから、成果指標 として設定する。	,	計画	-	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000
もたらそ	•		こして設定する。	,	実績	36,335	35,401	36,035	28,863	32,339	-
う	2				計画	-					
成果指標 ・とする効果・	۷				実績						-
標・成果の	(0)				計画	-					
数値化	3				実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか 事業の日かが上げ取答。	● 妥当である	市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域 づくりを図るため、市民のニーズに合った施設整備を 行うとともに、施設の利便性・安全性を向上させ、市
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか	概ね妥当である	民が安心して利用できる施設づくりを目指す必要があることから、八代市総合計画の施策である「スポーツ
・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	妥当でない	に親しめる環境づくり」に結びつき、事業の役割は薄れておらず、市が事業主体となることは妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	施設の老朽化などによる施設・設備の不具合が増加しているが、限られた財源の中で優先順位を付け、見直しを行いながら計画的に整備を行っているため、活動
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果を亢れ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	内容は有効である。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス	● 現行どおりでよい	市民が利用する公の施設であるので、市が計画的に施設整備を行い職員が業務を遂行することから、人件費の見直しはできず、民間委託等もできない。 施設毎に必要な整備を計画的に行っているため、他事
トの削減は可能か・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	業との統合・連携はできない。

夜間照明施設整備事業 Page 2 of 3

		4	(Action) 事務事業の方向性と改	革改善
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の 夜間照明施設は、主に市民の ためにも、市による施設整備	日常的なスポーツ活動に利用されて	いることから、安全で安心な施設を維持していく
外	部評価の実施	無		実施年度
改	H28進捗状況			•
善進捗状況等	H28取組内容			
	事審査に伴う常任 負会における意見 等	特になし。	(委員からの意見等	E)

夜間照明施設整備事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

-般財源(特別会計→事業収入)

			1 (Plan)事務	事業の計	画				
事務事業名	体育施訓	ひあり方検討			会計区分		01	一般会計	
7 100 17 117 12	IT. IJ WOK	X65 //5 IAH.	A TA	款項	項目コード(款-項-目	∃) 9	_	8 _	3
	基本目標(章)	2 郷土を拓く	人を育むまち	事美	業コード(大一中一川	2		31 —	98
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節)【政策】	3 スポーツに	親しめる環境			基本目標	Ę		
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1 スポーツの	推進		総合戦略での 位置づけ	施策大項	目		
	具体的な施策と内容		動を広げる環境			施策小項			
事務事業の概要 (全体事業の内容)	八代市体育施設25施設に	ついて、今後の道	箇正な配置や効 身	巣的な運用を	・図るため、体育	施設あり方	検討会を閉	見催し必要な検	討を行う。
実施手法	● 全部直営	〇一部	逐託	0	全部委託				
(該当欄を選択)	〇 その他()		
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:	ᆲ	: "/b+02+	+k==n.ab/ /±	# 7 7 7 六 中 午 1 - 1		の全てが補	助金支出である	場合に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市ス	(ホーツ振興計画	1、八代市のスホー	一り他設登値	■及ひ允美寺に	関りる指針			
事業期間	開始年度		†	終了年度		法令による		〇 1 義務で	である
予 本が旧	平成27年月	吏	平	成29年度		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	ごはない
			0 (D.) 東敦	古巻の中	He				
			2(Do)事務	争果の美	旭				
	Lu		四对象年度 <i>0</i>						
対 象 (誰・何を)	体育施設25施設								
(誰・何を)	体育施設25施設)事業内容		効果をもたら	したいのな	')	
(誰・何を)	(手段、方法等) 算額)177,420円 00円 80円 40円		価対象年度 <i>0</i>)事業内容 成果目 今後の適正	字等	りな運用を図			て必要な検
(誰·何を) 事業内容 (平成28年度決 報償費 135, 費用弁償 22.6 食料費 19.0 検討会委員	(手段、方法等) 算額)177,420円 00円 80円 40円		価対象年度 <i>0</i>	事業内容 成果目 今後の適正 討を行い、糸	学等 目標(どのようなななないででである)	対な運用を図 算く。	るため、な	本育施設につい	
(誰・何を) 事業内容 (平成28年度決報償費 135, 費用弁償 22.6 食料費 19.0 検討会委員 検討会開催回動	(手段、方法等) 算額)177,420円 00円 80円 40円		価対象年度 <i>0</i>	事業内容 成果目 今後の適正 討を行い、糸	事等 相標(どのようなななないでのようなないでは、 な配置や効果的総合的な方針を含	対な運用を図 算く。	るため、な	本育施設につい	
(誰・何を) 事業内容 (平成28年度決報償費 135, 費用弁費 19,0 検討会委員 検討会開催回動	(手段、方法等) 算額) 177,420円 00円 80円 40円 :7名 数:4回	評	価対象年度 <i>0</i>)事業内容 成果目 今後の適正計を行い、糸	事等 相標(どのようながない。 な配置や効果的総合的な方針を記 を合めな方針を記	9年度予算	るため、な	本育施設につい	
(誰・何を) 事業内容 (平成28年度決報費 135, 費用弁費 19,0 検討会委員 検討会開催回動	(手段、方法等) 算額) 177,420円 00円 80円 40円 :7名 效:4回	評	価対象年度 <i>0</i>)事業内容 成果目 今後の適正計を行い、糸	事等 相標(どのようながない。 な配置や効果的総合的な方針を記 を合めな方針を記	9年度予算	るため、な	本育施設につい	

体育施設あり方検討会事業 Page 1 of 3

181

177

306

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	体育施設あり方検討会開催回数	回	計画	-			5	5	5
事業	0		Щ	実績				5	4	_
മ	2			計画	-					
活動指標				実績						-
1標 栗績の数値化	3			計画	-					
				実績						-

-
-
_

〈記述欄〉※数値化できない場合

本検討会は、3ヵ年をかけて検討を行うもので、3年目に総合的な結論を求めることとしていることから、検討途中に成果は求められない。

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか	● 妥当である	現在の体育施設は、施設の老朽化や利用頻度に偏り等がみられることから、体育施設全体の整理を行うためにあり方検討会を実施している。市民ニーズや社会状
・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	況の変化に柔軟に対応し、よりよい体育施設の運営に 努めるため事業実施は妥当である。
ないか)	妥当でない	
▲江動内窓はちかかりのしかっていてか	● 有効である	今後の体育施設の維持管理をより効果的且つ効率的に 運営するための検討を行うものであるため、活動内容 は有効である。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	は有別でめる。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	市が所有する体育施設の今後の適正な配置や効果的な 運用を図るための検討を行うものであり、民間委託は できず、他の事業との統合等はできない。
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	

体育施設あり方検討会事業 Page 2 of 3

			·		
		4 ()	Action)事務事業の方向性と改	(革改善	
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡	大・市民等との協働等)
(グドロ (該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
		(今後の方向性の理由、改革改善の取			
今	後の方向性の		、今後の適正な配置や効果的な運		
	由、改革改善の	なお、平成29年度に万針を導さ 	だし、今後の体育施設の運営や施	設整備等に沽用する。	
	取組等				
				+155+	
タ	ト部評価の実施 	無		実施年度	
改	H28進捗状況				
改善進捗状況等					
捗	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
八況	H28取組内容				
等					
느					
			(委員からの意見等		
油作	算審査に伴う常任	特になし。			
	員会における意見				
	等				

体育施設あり方検討会事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務事業(の計画							
事務事業名	社会体验	与体	設災害復旧事業	会計区分		01 一般会計					
デ 切テネロ	TIZIPAF	7 // 1	放火日夜山于木	款項目コード(款-項-	目) 10	_	4	_	4		
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	32	_	01		
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標						
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目						
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる環境づくり		施策小項目						
事務事業の概要 (全体事業の内容)	平成28年4月に発生した負を行う。	ţ本±	也震及び同年7月の集中豪雨に伴う災	害復旧事業で、八	代市体育施設 <i>の</i>)利用環	環境を整体	帯する <i>ため</i>	の事業		
実施手法	● 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託							
(該当欄を選択)	○ その他()							
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補	助金支出	である場合	今に記入。		
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市ス	スポー	- ツ振興計画、八代市のスポーツ施設	整備及び充実等に	関する指針						
古 类 切 目	開始年度		終了年度	<u></u>	法令による実施義務		O 1	義務であ	る		
事業期間	平成28年月	叓	平成28年	度	(該当欄を選			義務では	ない		

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 八代市体育施設(25施設) 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) (平成28年度決算額) 22,232,329円 平成28年4月に発生した熊本地震及び同年7月の集中豪雨に伴う体育施設 (下版20年度次年報) 22.232.3391 《修繕料(熊本地震)》 4.216.482円 総合体育館小アリーナ壁面改修 1.297,890円 市立武道館屋根修繕 508,032円 鏡武道館天井修繕 440,640円 の被害箇所の修繕等を行う。 <委託料> 16,286,400円 総合体育館・東陽スポーツセンター天井改修工事実施設計業務委託 16,286,400円 コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) 15,641 22,232 (単位:千円) 国県支出金 2,628 財 地方債 6,400 12,900 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 訳 般財源(特別会計→事業収入) 9,241 6,704

社会体育施設災害復旧事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1			計画	-					
事業				実績						-
σ	2			計画	1					
活動指標 3活動量・実績(実績						-
1標 表績の数値化	3			計画	-					
	3)			実績						_

年度中に災害が発生した場合に実施する事業であるため、活動指標の設定は困難である。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1				計画	-					
もたられ	•				実績						-
そうとす	2				計画	-					
成果指標 たらそうとする効果・	W)				実績						-
標 . 成果の	(計画	-					
の数値化	3				実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

体育施設の本来の状態に戻すことを目的とする事業であるため、成果指標の設定は困難である。

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか	● 妥当である	市民がスポーツ活動を行うための拠点となる体育施設 の災害復旧のための事業であることから、事業実施は 妥当である。
・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	
ないか)	妥当でない	
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	被災する体育施設の早期復旧及び安全性を確保するための事業であることから、活動内容は有効である。
✓ 冷却的各は有別なものとなっているか。・成果目標の達成状況は順調に推移しているか。・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	被害状況に応じて必要な復旧工事等を検討、実施する 必要があることから、民間委託等は困難であり、非常 勤職員等による対応は難しいため、現行どおりでよ い。
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	

社会体育施設災害復旧事業 Page 2 of 3

		4 (,	Action)事務事業の方向性とは	收革改善
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(ガドル (表別の) (4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
		(今後の方向性の理由、改革改善の取		
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等	被害状況に応じて、被災する体	育施設の早期復旧及ひ安全性を依	権保するために必要な整備等を行う。
夕	ト部評価の実施	無		実施年度
改	H28進捗状況			·
改善進捗状況等	H28取組内容			
			(委員からの意見	等)
	算審査に伴 う 常任 員会における意見 等	特になし。		

社会体育施設災害復旧事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 管理係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

1 (Plan) 事務事業の計画										
事務事業名	社会体育施	会計区分		01 一般会計						
デ1のデ ボロ	在 五 平 月 池	יאם	《廖尹木 \ 火口因》	E /	款項目コード(款-項-	∄) 9	_	8	_	3
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むる	まち	事業コード(大一中一	راب) 2	_	32	_	09
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめるエ	環境づくり		基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進		総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	4	スポーツ活動を広げる	環境づくり		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	平成28年4月に発生した創	《本 》	也震に伴う災害復旧事業	で、総合体育	館と東陽スポーツー	zンターの利用₹	環境を	を整備するた	≿めの事業	ぎを行う。
実施手法	● 全部直営		〇 一部委託		〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てがネ	辅助金支出 ⁻	である場合	に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市ス	スポ・	ーツ振興計画、八代市のス	スポーツ施設	整備及び充実等に	関する指針				
声	開始年度			終了年度	度 法令による実施義務 〇 1 🥫			義務である	3	
事業期間	平成28年月	隻		平成29年	度	(該当欄を選	【択)	● 2 ª	義務では	ない

根	拠法	令、	要綱	等								
	車	業期	胆	開始年度			終了年度		法令による	5実施義務	〇 1 義務で	: ある
	7	未为	1111	平成28年度		平	成29年度		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	きはない
					2	(Do) 事務	事業の実	施				
					評価	対象年度の	つ事業内容	等				
	(象 何を	八代市総合体育館 八代市東陽スポーツセンター								
				容(手段、方法等)					は効果をもたら			
	(平	成28	9年度	決算額) 142,748,000円				この で で に発生した が で が で が で が り で り で り で り で り で り り り り		い、総合体育	館及び東陽ス	スポーツセン
	総東東東東	体で 場スオ 易スオ 易スオ	育館:ドーツドーツ	天井改修建築工事 338,040,000 天井改修設備工事 52,434,000円 パセンター天井改修建築工事 81 パセンター天井改修電気設備工事 パセンター天井改修機械設備工事 が対け、 が前払済額を除き、執行残額を含むな	7 ,756,000円 18,846,000円 3,866,400円							
	٦2	スト推	養			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
			事	業費(直接経費)	(単位:千円)			142,748	387,552			
				国県支出金					38,160			
	地方債							135,600	334,600			
			内訳	その他特定財源(特別会計→繰入会	金)							
				一般財源(特別会計→事業収入)				7,148	14,792			

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1			計画	-					
事業)			実績						-
σ	2			計画	-					
活動指標 (活動量・実績(<u>u</u>			実績						-
標績の数	3			計画	-					
の数値化	9)		3	実績					-	-

災害対策工事として実施する事業であるため、活動指標の設定は困難である。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1				計画	-					
成果指標 もたらそうとする効果・	•				実績						-
	2				計画	-					
灰果指 環					実績						-
標 ・成果の					計画	-					
の数値化	3				実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

体育施設の安全な状態に戻すことを目的とする事業であるため、成果指標の設定は困難である。

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか	● 妥当である	市民がスポーツ活動を行うための拠点となる体育施設 の安全性確保のための事業であることから、事業実施 は妥当である。
・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	
ないか)	妥当でない	
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	被災する体育施設の早期復旧及び安全性を確保するた めの事業であることから、活動内容は有効である。
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス	● 現行どおりでよい	被害状況に応じて必要な復旧工事等を検討、実施する 必要があることから、民間委託等は困難であり、非常 勤職員等による対応は難しいため、現行どおりでよ い。
トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必 要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	

		4	(Action) 事務事業の方向性と改	革改善
	今後の	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(方向性 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の スポーツ施設の安全性の確保	****	用に支障がないよう必要な整備等を行う。
夕	ト部評価の実施	無		実施年度
改	H28進捗状況			<u> </u>
改善進捗状況等	H28取組内容			
	草審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし。	(委員からの意見等	等)

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1 (Plan) 事務事業0	D計画					
車茲車業名	フポ ー ぃ	/推進委員関	10年辛	会計区分		01	一般会	計	
予切于 未 口	スポープ	/正连女员员	引水于木	款項目コード(款-項-	9	_	8	_	2
	基本目標(章)	2 郷土を拓く	〈人を育むまち	事業コード(大一中一/	2	_	31	_	59
WONE	施策の大綱(節)【政策】3 スポーツに親		こ親しめる環境づくり		基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1 スポーツの	推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	1 生涯スポー	-ツの推進		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	生涯スポーツの推進を図 スポーツ推進委員が九	ることを目的とす 州地区内のスポ-	ーディネーターの役割を担: る。 ーツ推進委員の活動事例や 章がい者等、誰もが気軽に	や実技などの各種の	所修会を通じて、	知識・	技能の習		
実施手法	● 全部直営	〇 一部	『委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補具	助金支出	である場合	計に記入。
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市ス	スポーツ推進委員	員設置規則						
声	開始年度		終了年度		法令による実施義務		• 1	義務であ	る
八代市総合計画における位置づけ) 事務事業の概要 (全体事業の内容) 実施手法 (該当欄を選択) 補助金事業該当	合併前		未定		(該当欄を選	【択)	O 2	義務では	ない

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 スポーツ推進委員(72名) 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 【平成28年度決算額】3.856千円 スポーツ推進委員の指導力の向上と地域スポーツ及び生涯スポーツの推 ・九州地区スポーツ推進委員研究大会参加(熊本市:38名) ・熊本県スポーツ推進委員研修会参加(九州地区と同時開催) 進を図る。 また、ニュースポーツ用具の充実を図ることにより、子どもや高齢者、障がい者などライフステージに応じ、誰もがスポーツに親しむことができる環境を ・スポーツ推進委員派遣事業(派遣22回、144名、参加人員1,714名) ・ニュースポーツ普及事業(実施4回、34名、参加人員250名) 整備する。 ・ニュースポーツ用具貸出(374件、利用者数7,851名) コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) 5,797 (単位:千円) 4,328 5,077 3,856 6,297 8,000 5,797 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 500 500 訳 般財源(特別会計→事業収入) 4,328 5,077 3,356 5,797 8,000 5,797 5,797

スポーツ推進委員関係事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	九州及び熊本県スポーツ推進委員研修会 への参加人数	,	計画	-	68	75	75	75	75
事業			λ,	実績		70	57	56	38	_
の活動	2	スポーツ推進委員の派遣件数	件	計画	-	40	40	40	40	40
活動指標 電車 主			11	実績		48	47	47	20	-
の	3			計画	-					
数 値 化	3			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1)	ニュースポー ツ用具の利用 者数	ニュースポーツの利用者 が増加することにより、 生涯スポーツへの取組が 進んだものと考えられる ことから指標として設定 する	,	計画	-	9500	10500	11000	11500	12000
もたらそうとす				\	実績	8962	9991	10491	11234	7851	-
	2				計画	-					
成果指標					実績						-
成果の					計画	-					
数値化	3				実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	各種研修会の充実を図り、スポーツ推進委員の資質の向上を図ることで、市民のスポーツに親しむことのできる環境を構築することは、八代市総合計画に掲げる「スポーツに親しめる環境づくり」に結びつく。
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	また、スポーツ推進委員の派遣依頼やニュースポーツ の利用者数は年々増加傾向にあり、市民のニーズは薄 れていないと考えられる。
ないか)	妥当でない	スポーツ推進委員は、本市非常勤の特別職であり、 その活動について市が支援等を行うことは妥当であ る。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	スポーツ推進委員の派遣依頼やニュースポーツ用品 の利用件数は増加傾向にあることから、スポーツに親 しむ環境づくりに対する成果は順調である。
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	また、市民アンケートでは、スポーツを全く行わない市民の割合が30%と高いことから、更なる取り組みの見直しを検討する余地はあると考えられる。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	市民に身近な存在であり、地域の実情を理解しているスポーツ推進委員は非常勤特別職の公務員であり、 自らが中心となり地域スポーツの推進を図っていることから、民間委託や非常勤職員による対応は出来ない。
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	また、市民のスポーツの実施率の向上やスポーツに 親しむ環境づくりの推進を目的とすることから、受益 者負担は困難と考えられる。

スポーツ推進委員関係事業 Page 2 of 3

		4	(Action) 事務事業の方向性と	改革改善
今後 方向		1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(該当欄を		4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)) 6 市による実施(規模拡充)
今後の方 理由、改革 取組	向性の 直改善の			から望ましいことであり、その活動が評価され派遣 ている。
外部評価	iの実施	無		実施年度
改 H28進	掺 状況			· · · · ·
改善 進 抄 状 況 等	双組内容			
			(委員からの意見	見 等)
決算審査に 委員会にお 等	伴う常任 ける意見	特になし		

スポーツ推進委員関係事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度	平成28年度
--------	--------

			1 (Plan) 事務事業 <i>(</i>	D計画					
事務事業名	なでも	# #	「駅伝競走事業	会計区分		(01 一般会詞	it	
予切于 未归	汉应入	ענני	INIA 加化于木	款項目コード(款-項-	目) 9	_	8	31 — 60	
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	60
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	2	地域スポーツの推進		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)			・通じて、地域スポーツの振興と地域の 区代表選手10名による校区対抗形式の				万体育協会	、熊本日	3新聞社
実施手法	● 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てがネ	甫助金支出	である場合	iに記入。
根拠法令、要綱等									
****	開始年度		終了年度	Ę	法令による実施	拖義務	y O 1	義務である	క
事業期間	合併前		未定		(該当欄を選	(択)	● 2 i	8 _ 2 31 _ 60 育協会、熊本日日新聞社 企支出である場合に記入	ない
			2 (Do) 事務事業の	実施					

評価対象年度の事業内容等 校区代表選手 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 【平成28年度決算額】585,658円 大会参加の経験、大会に向けた練習により校区代表の育成・強化を図るとと 第12回校区対抗駅伝競走 開催日時:平成29年1月15日(日) もに、校区住民また校区間相互の親睦を図る。 コース:県営八代運動公園から球磨川スポーツ公園折り返し 10区間 31.2km 参加:19校区 18チーム(324名:1チームエントリー21名) 交通整理:159名 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 コスト推移 事業費(直接経費) (単位:千円) 590 586 662 662 662 662 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 訳 般財源(特別会計→事業収入) 590 586 662 662 662 662

校区対抗駅伝競走事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標 事業の活動量・実績の数値化	1			計画	1					
	0			実績						-
	2			計画	ı					
				実績						-
	3			計画	-					
	3			実績						-

指標として、応援者数が考えられるが、競技場や沿道の観客者数の正確な人数をカウントするのは困難であるため、数値化が難しい。

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
1	1	参加校区数	参加チームが増えるほど 地域内でのスポーツに対 する関心が高まるものと 考えられるため	校区	計画	-	17	18	21	21	21
もたらそう			与たり4v を/にの	KΕ	実績		19	19	20	19	-
لم	2				計画	-					
成果指標	(2)				実績						_
標 ・ 成果 の	3				計画	-					
数值化	3				実績						_
	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								_

3 (Ch	3 (Check)事務事業の自己評価											
着眼点	チェック	判断理由										
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	・校区対抗形式の駅伝競走を通じて、地域の連帯感の 醸成を図ることで、市総合計画の政策・施策である 「スポーツに親しめる環境づくり」に結びつく。										
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	・臨港線や球磨川スポーツ公園などで、多くのランナーがみられ、ランニングイベントに対する市民のニーズは高いことから事業の役割は薄れていない。										
ないか)	妥当でない	・地域スポーツを推進するために、市が主体となって 取り組む必要がある。										
	● 有効である	・殆どの校区が出場しており、概ね成果目標を達成している。										
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である											
	有効でない											
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	・選手や応援者の安全を確保するために、多くの交通 整理員を要することから、人員やコストの削減はできない。 ・本事業と類似・関連する事業がないため他事業との 統合・連携はできない。										
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	・警察や陸上競技団体等さまざまな関係機関と連携・調整が必要なため、非常勤職員による対応は難しい。										

校区対抗駅伝競走事業 Page 2 of 3

	4 (Ac	etion)事務事業の方向性と改革	革改善	
今後の	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の	拡大・市民等との協働等)
方向性 (該当欄を選択)	● 4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の 理由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の取組・今後の方向性の理由 ・今後の方向性の理由 人口規模が小さな校区においては 見直す必要がある。 ・改革改善の取り組み 多くの校区が参加できるようNP 制限等について協議調整を進める	、選手選出に苦労している状況! 〇法人八代市体育協会、八代市隊		
外部評価の実施	有:外部評価		実施年度	平成25年度
改 H28進捗状況	4. 検討・見直し中		•	
改善	全校区が参加できるように内容を見 会、八代市陸上競技協会、各校区駅(NPO法人八代市体育協
決算審査に伴う常任 委員会における意見 等		(委員からの意見等)	

校区対抗駅伝競走事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度	平成28年度
--------	--------

		1 22-1 22								
				1 (Plan)事系	多事業の	計画				
事務事業	名	市	民体育祭事	業		会計区分		01	一般会計	
		-			赤	炊項目コード(款−項	-目) 9		8 —	2
		基本目標(章)	2 郷土を拓く	人を育むまち	星	事業コード(大一中-	-小) 2		31 —	61
施策の体系 (八代市総合語		施策の大綱(節) 【政策】	3 スポーツに	親しめる環境	づくり		基本目標	票		
おける位置づけ		施策の展開(項) 【施策】	1 スポーツの	推進		総合戦略での 位置づけ	施策大功	頁目		
		具体的な施策と内容	2 地域スポー	ツの推進			施策小功	頁目		
事務事業の (全体事業の)		八代市、NPO法人八代市 総合優勝、男子総合優勝 【競技名】 水泳、相撲、軟式野球、 登山、銃剣道、空手道、ケ い者スポーツ競技フライン	、女子総合優勝を ソフトテニス、バレ ・ートボール、陸」	を決定する。 レーボール、卓球	、柔道、剣	道、弓道、ソフト	ボール、サッ	カー、バドミン	ハン、バスケ [、]	ットボール、
実施手法 (該当欄を選		〇 全部直営	● 一部	逐託	(O 全部委託				
補助金事業		○ その他(○ 補助金(主な補助先:) ※ 圣質) の今てがば出	金支出である	担合に記る
	談ヨ	○ 補助金(土な補助先:)水下昇	の主てか補助	金叉田である	场合に記入。
根拠法令、要	綱等									
事業期間	₹	開始年度		:	終了年度		実施義務	〇 1 義務で	である	
7 7/11	,	合併前			未定		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	ごはない
				2 (Do) 事務	事業の写	長施				
			評	価対象年度の	の事業内	 容等				
対 須 (誰・何		各校区代表選手								
事業	内容(=	 手段、方法等)			成果	目標(どのような	が果をもたら	らしたいのか))	
第11回八 実施競技 参加選手	代市民 数:21 数:2,		∼11月6日			E体的にスポート ツ人口を増加さ		迷続したスポ	一ツ活動を行	うことによ
コスト推和	多			26年度決算	27年度決	算 28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
-	事業費	(直接経費)	(単位:千円	3)	2,4	58 1,628	2,181	2,181	2,181	2,181
	国県	具支出金								
月月		 i 債								
F	h —)他特定財源(特別会計→	繰入金)							
	一舟	段財源(特別会計→事業収	入)		2,4	58 1,628	2,181	2,181	2,181	2,181

市民体育祭事業 Page 1 of 3

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	開催競技種目	数	計画	-	25	25	25	25	25
事業		奴	実績	23	24	22	25	21	-
万活動	2		計画	-					
活動指標 記動量・実績			実績						-
の	3		計画	1					
値 化 -	(-2) h 181 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	市民体育祭参 加者数	市民体育祭参加者が多いほど地域のスポーツが活発に行われていると考え		計画	-	4000	4000	4000	4000	4000
もたらそ			られるため、指標として 設定する。	X	実績	3893	3974	3493	3778	2670	_
う	2				計画	-					
成果指標					実績						-
成果の	3				計画	-					
数 値 化	3				実績						-

(Check) 事務事業の自己評価 着眼点 チェック 判断理由 市民のスポーツへの関心を高める事業として、八代市 総合計画の政策・施策である「スポーツに親しめる環

◆事業実施の妥当性を備えているか

〈記述欄〉※数値化できない場合

- ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか
- ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか
- ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい ないか)

● 妥当である

概ね妥当である

境づくり」や「スポーツの推進」に結びつき、市民体 育祭を通じて、心身の健康づくりを推進し、活力あふ れる地域づくりの一助として、地域住民のつながりを 深めることが期待できるため、事業の役割は薄れてい ない。

また、市民を対象として、校区対抗形式で競技を実施することから、市が主体となって事業を実施することは妥当であると考えられる。

◆活動内容は有効なものとなっているか

- ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか
- ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)

● 有効である

妥当でない

有効でない

概ね有効である

多くの市民が参加される大会であり、市民のスポ-ツ活動の取組の契機、健康づくりの推進に寄与するこ とから、事業は順調と考えられる。

また、事業の更なる充実を図るために、平成26年度 より健常者のみならず、障がい者も参加できるフライ ングディスク競技を実施している。

◆実施方法は現行どおりでよいか

- ·民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず 現行どおりでよい にコストを削減することは可能か
- ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス
- トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方
- 法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必 要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)

現在、各競技団体が加盟するNPO法人八代市体育協 会に事業を委託しており、また、全校区を対象とした 市内唯一の体育祭であり、市内全域の地域スポーツの 推進に寄与していることから、他の事業との関連や類 似性はないと考えている。既に、NPO法人八代市体育 協会に委託しており、主体的に事業を推進していくた めには、非常勤職員等の対応は考えられない。

地域スポーツのすそ野の拡大や活力ある地域づくり を目指すことから、受益者負担の見直しの余地はな

市民体育祭事業 Page 2 of 3

見直しが必要

	4 (A	ction)事務事業の方向性と	数革改善数革改善数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据数据	
今後の 方向性	1 不要(廃止) 4 市による実施(要改善)	2 民間実施 5 市による実施(現行どおり)	3 市による実施(民間委託の ● 6 市による実施(規模拡充)	拡大・市民等との協働等)
(該当欄を選択) 今後の方向性の 理由、改革改善の 取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の取	組ともたらそうとする効果など) ングディスクを継続して実施し、	また参加者のニーズを把握	して、今後は卓球バ
外部評価の実施	有:外部評価		実施年度	平成25年度
改 H28進捗状況	1. 対応済 (廃止含む)			
改善 進 排 H28取組内容 況 等	障がい者スポーツ競技フライング [・]	ディスクを引き続き実施する。		
		(委員からの意見	等)	
決算審査に伴う常任 委員会における意見 等	特になし			

市民体育祭事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務事業	の計画					
事務事業名	各種スポー	会計区分		01 一般会計					
学 份学术 石	で住へハー	款項目コード(款-項	-目) 9	_	8	_	2		
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	-小) 2	_	31	_	62
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	3	競技スポーツの推進	-	施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)			会等へ出場する選手、監督等に対して 費用負担の軽減を図るため、スポーツ:			秀な反	艾績を収 <i>め</i>	ることへの	の意欲を
実施手法	● 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	● 補助金(主な補助先:)※予算の全	こてがれ	補助金支と	出である場	合に記入。
根拠法令、要綱等									
市 类 加 門	開始年度		終了年月	華	法令による実	令による実施義務		義務であ	58
事業期間	合併前		未定		(該当欄を選	選択)	• 2	2 義務では	はない

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 九州大会以上へ出場する選手・監督 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 【平成28年度決算額】5,062,000円 九州大会・全国大会の出場者に対し、補助金を交付することにより、優秀な成 績を収めることへの意欲を高めるとともに、大会出場の費用負担の軽減を図 (事業内容) 補助金名:八代市スポーツ大会奨励補助金 る。 補助基準:(1人あたり) 小中学生:九州·西日本大会5,000円、全国大会10,000円 高 校 生:全国大会10,000円 般:全国大会10,000円 国際大会:国外開催30,000円、国内開催20,000円 交付回数:小中高校生は年2回、一般は年1回を交付する。 平成28年度実績:154件 コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 5,716 5,732 5,062 6,500 6,500 6,500 6,500 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 訳 6,500 般財源(特別会計→事業収入) 5,716 5,732 5,062 6,500 6,500 6,500

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	スポーツ大会出場奨励補助金の申請者数 (九州大会以上)	,	計画	-	700	800	800	800	800
事業			λ,	実績	642	773	624	659	558	_
の活	2			計画	-					
活動指標 過量・実績				実績						-
の	3			計画	-					
数 値 化	(S)			実績			-	-	-	_

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	全国大会出場 入賞件数	全国大会において入賞 (ベスト4)件数が増加す るほど、競技力が向上し	件	計画	-	15	17	17	17	17
もたらそ	0		たと考えられるため成果 指標として設定する。	117	実績	13	15	11	12	12	-
う	2				計画	-					
成果指標 ・とする効果・	W)				実績						-
様・成果の	3				計画	-					
の数値化	3				実績						_
16	〈記:	述欄〉※数値化で	きない場合								

3 (Check) 事務事業の自己評価 着眼点 チェック 判断理由 予選会や選考会を勝ち抜き全国大会等に出場する選 ● 妥当である 手、監督等に対し、補助金を交付することにより、優 秀な成績を収めることへの意欲を高めるとともに、競 ◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて 技力の向上を図ることが目的であり市の上位施策に結 概ね妥当である いないか びつく。 ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい ないか) 妥当でない 本事業について広報媒体を有効に活用し、更なる認知 度向上及び利用率の向上を目指す。また、多くの出場 ● 有効である 選手等から「大変ありがたい」「旅費負担の軽減にな ◆活動内容は有効なものとなっているか る」との声があり、活動内容は有効である。 ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか 概ね有効である ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか) 有効でない 対象大会・補助金額については、これまで見直し拡充 ◆実施方法は現行どおりでよいか を図っており事業費の削減の余地はない。また、補助 金の内容精査においても他課への確認し、補助額を決 ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か ● 現行どおりでよい 定することから市で実施するのが適正である。 ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス また、事業内容は対象者への補助金でああることか トの削減は可能か ら、受益者負担は適さない。 ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費を削減することは可能か 見直しが必要 ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必 要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)

		4 (,	Action)事務事業の方向性と改	革改善					
	今後の	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実	ミ施(民間委託の排	太大・市民等との協働等)			
(方向性 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実	『施(規模拡充)				
今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 引き続き、市のホームページや市報、また、FMやつしろ等の広報媒体を活用して広く事業の周知を行う。また、小中高の学校に対しても、年度初めに周知を行い利用者の増加につなげる。 取組等									
射	部評価の実施	有:外部評価			実施年度	平成23年度			
改	H28進捗状況	1. 対応済 (廃止含む)							
善進捗状況等	H28取組内容		いて、事業名が分かりにくいとして「 スポーツ大会派遣事業」から「各種ス						
ب		特になし	(委員からの意見等)					
	平審査に伴う常任 全における意見 等								

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1	(Plan) 事務事業の	の計画					
事務事業名	I	足力	本育祭事業	(会計区分			01 一般会	計	
学 份学术 石	بر	Σ γ	平月 不		款項目コード(款-項-	·目) 9	_	8	_	2
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人	を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	31	_	64
施策の体系	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親	しめる環境づくり		基本目標				
(八代市総合計画に おける位置づけ) 施策の展開(項) 【施策】 1 スポーツの推進					総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
具体的な施策と内容 3 競技スポーツの推進						施策小項目				
熊本県民体育祭は、昭和20年の第1回大会から71回目を数える歴 参加する県下最大のスポーツ大会である。八代市でも毎年400名 事務事業の概要 (全体事業の内容)					超える役員・監督・	選手を派遣してし		公開10競	技)に約8,	400人が
実施手法	〇 全部直営		● 一部委	託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが	補助金支出	である場合	計に記入。
根拠法令、要綱等										
± ** ** 11 EB	開始年度			終了年度	Ę	法令による実	施義和	答 O 1	義務であ	る
事業期間 合併前 未定				未定		(該当欄を選	選択)	● 2	義務では	ない
			2	(Do) 事務事業の	実施					

110	.] <u>/</u> [/]	т,	女們	1								
事業期間		問	開始年度	開始年度					る実施義務	〇 1 義務で	:ある	
	4-20/41/14] [#J	合併前			未定		(該当欄	を選択)	● 2 義務で	きはない
					2	(Do) 事務	事業の実	施				
					評価	対象年度0	り事業内容	等				
	(象 何を	八代市選手団								
事業内容(手段、方法等)								標(どのような		•		
	第7日開催開催	回 期 地 :	熊本! 日:平 阿蘇	法学額】0円 県民体育祭熊本大会 成28年9月24日(土)、25日(日) 市 の影響により中止				スポーツ大会や強化練習に				☆を通じて競
	コス	ト推	養			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
			事	業費(直接経費)	(単位:千円)		2,890		4,620	4,620	4,620	4,620
				国県支出金								
			財源	地方債								
			内訳	その他特定財源(特別会計→繰入金	金)							
				一般財源(特別会計→事業収入)			2,890		4,620	4,620	4,620	4,620

県民体育祭事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	種目別優勝競技		計画	-	4	5	5	5	
事業				実績		4	4	2	_	-
の 活動 活 動	2			計画	-					
活動指標 (1) 活動指標				実績						-
()	3			計画	-					
数值化				実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	県民体育祭総 合得点	総合得点が高くなるほど 競技力が向上したと考えられることから、指標と		計画	-	690	720	720	1500	1500
もたらる			して設定する。		実績	686	712	704	1220.5	_	_
そうとす	2				計画	-					
成果指標					実績						-
18 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3				計画	-					
数値化	(S)				実績						-

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Check)事務事業の自己評価								
着眼点	チェック	判断理由						
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	・県内最大のスポーツイベントである大会に参加することで、各競技の競技力向上に繋がることから、八代市総合計画の政策・施策である「スポーツに親しめる						
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	環境づくり」や「スポーツの推進」に結びつく。 ・参加人員の増加や総合成績2位からみて、事業の役割は薄れていない。						
ないか)	妥当でない	・八代市の代表として大会に選手を派遣することから、市が事業主体となる必要がある。						
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	・総合成績は常に上位成績を残しており、事業の達成 状況は順調である。 ・年度により各競技の成績にばらつきがあることか						
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	ら、上位成績を残している選手の強化練習のメニューなどを他競技などに取り入れ、更なる競技力の向上を 目指す。						
	有効でない							
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	・平成23年度から選手団の派遣業務について、NPO 法人八代市体育協会委託していることから、民間委託 等の導入はできない。 ・本事業以外に類似・関連する事業がないことから、 他の事業との統合・連携はできない。 ・平成23年度から選手団の派遣業務について、NPO						
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	・ 平成23年度から選手団の派遣来榜について、NPO 法人八代市体育協会に委託してしていることから、これ以上の人件費の削減はできない。 ・八代市の代表選手として大会に出場することから、 受益者負担の見直しの余地はない。						

県民体育祭事業 Page 2 of 3

	4 ((Action) 事務事業の方向性と改	革改善				
今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡	広大・市民等との協働等)			
(該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)				
今後の方向性の 理由、改革改善の 取組等	託事業として実施する。 ・改革改善の取り組みをもたら NPO法人八代市体育協会と意	常に専門性を必要とするため、大会					
外部評価の実施	有:外部評価		実施年度	平成24年度			
177 TO 17 TO	1. 対応済 (廃止含む)		•				
善進 抄 状 H28取組内容 况 等	いただいたことから、優秀な成績	いて、更に、総合優勝できるよう期待 を収めている競技の選考方法や強化線 なり、競技団体の支援を行なっている	東習メニュー・ノウハウの共有化				
決算審査に伴う常任 委員会における意見 等	特になし	(委員からの意見等	等)				

県民体育祭事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

			1(Plan)事務	事業0	D計画						
事務事業名	郡市対抗熊日駅伝	<u>.</u> . j	_货 日郡市対抗女子駅份	云事	会計区分				01 一般会	計	
争份争杀石	業				款項目コード(款-項	-目)	9	_	8	_	2
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち		事業コード(大一中-	-小)	2	_	32	_	05
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節)【政策】	3	スポーツに親しめる環境	づくり		į	基本目標				
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1	スポーツの推進		総合戦略での 位置づけ		施策大項目				
	具体的な施策と内容	3	競技スポーツの推進			7	施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	県内唯一の郡市対抗形式 毎年実施される郡市対抗 会では、NPO法人八代市・	女子駅伝	大会に、選手団・	役員	の派遣を行れ	なう。	また、郡市		日駅伝大		
実施手法	〇 全部直営		● 一部委託		〇 全部委託						
(該当欄を選択) ———	○ その他()				
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:					,	※予算の全	てがネ	補助金支出	である場	合に記入。
根拠法令、要綱等											
事業期間	開始年度		f	終了年度		法	令による実施	包養 和	务 0 1	義務であ	58
尹禾朔间	合併前			未定			(該当欄を選	択)	• 2	義務では	はない

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 八代市選手団及び関係者 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 【平成28年度決算額】529,210円 大会参加の経験、大会に向けた練習により優秀選手の育成・強化を図り、競 第43回郡市対抗熊日駅伝(平成29年2月11日(土)) 技力の向上を図る。 天草市役所前~びぷれす熊日会館前 14区間 105.4km 派遣選手団・役員38名 成績5位 選手選考レース 平成28年12月23日(金) 約130名参加 第34回熊日郡市対抗女子駅伝大会(平成29年1月22日(日)) びぷれす熊日会館前~鶴屋百貨店 7区間 28.4km 派遣選手団・役員15名 成績 6位 選手選考レース 平成28年12月23日(金) 約65名参加 コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 507 508 529 761 761 761 761 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 訳 般財源(特別会計→事業収入) 507 508 529 761 761 761 761

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	代表選手選考会参加選手数	ı	計画	-	340	345	345	345	345
事業の	Э		λ	実績	337	300	230	200	195	-
活動指標 活動量・実績の数値化	2			計画	-					
)			実績						-
	3			計画	-					
		沈悶 公粉 広ルでされ、 長		実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ŧ	1)	郡市対抗熊日 駅伝大会成績	成績が上がることにより 派遣選手団の競技力が向 上したと考えられるため	位	計画	-	7	7	5	5	4
たらそう)		成果指標として設定する。	<u>ir</u>	実績	8	8	5	7	5	-
と 成す	2	熊日郡市対抗 女子駅伝大会 成績	成績が上がることにより 派遣選手団の競技力が向 上したと考えられるため	位	計画	ı	9	8	8	8	7
	a		成果指標として設定する。	lπ	実績	10	14	8	12	6	-
成果の	3	区間賞受賞者 数	区間賞受賞者数が増加するほど、選手個々の競技力が向上間にとったと考えられ	1	計画	-	1	1	1	2	2
数 値 化	9		るため成果指標として設 定する。	\	実績	0	0	2	1	1	-

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	・県内唯一の郡市対抗形式による駅伝大会に選手団を 派遣することにより、市選手団の競技力の向上を図る ことが目的であり、市総合計画に掲げる「スポーツに 親しめる環境づくり」に結びつく。
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	・本大会出場者が、後に日本代表として世界大会出場、また多くの全国大会出場者を輩出するなど優秀選手として活躍しており、事業の役割は薄れていない。
ないか)	妥当でない	・市が事業主体となり、専門的知識を有する団体と連携し、事業に関わることは妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	・年度により出場選手が変わることで順位が上下することもあるが、平成28年度においては、男子5位、女子6位となり、概ね達成していると考える。女子については、年度により成績の変動があることから、更な
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	る強化が求められる。 ・平成25年度からNPO法人八代市体育協会に事業委託 することで、それまで市職員で行っていた大会当日の 選手のケアを専門的見地から行うことが可能となり、
	有効でない	さらに成果を上げることができる。
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か	● 現行どおりでよい	・専門的知識を有するNPO法人八代市体育協会に本事業を平成25年度から委託し、選手がより望ましい環境で大会に参加できるとともに、市の業務量の削減に繋がった。
・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か		・本事業と類似・関連する事業がないため、統合・連携はできない。 ・NPO八代市体育協会や陸上競技団体等様々な関係機関と連携・調整が必要なため、非常勤職員等による対
・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	応はできない。 ・選手は八代市の代表として参加するので、旅費等の 受益者負担を見直す余地はない。

		4 ((Action) 事務事業の方向性と	改革改善		
7	今後の 方向性 ^{当欄を選択)}	1 不要(廃止) 4 市による実施(要改善)	2 民間実施 5 市による実施(現行どおり)		産施(民間委託の拡 産施(規模拡充)	大・市民等との協働等)
理由、	の十句件の	(今後の方向性の理由、改革改善の 市職員で対応が困難な専門的 からNPO法人八代市体育協会に	りな見地からの支援体制を整える	とともに業務量の	の削減につなげ	るため、平成25年度
外部	評価の実施	有:外部評価			実施年度	平成25年度
改		1. 対応済 (廃止含む)				
改善進捗状況等			いて、専門団体へのバックアップ強 働化)」の評価を頂いたことから、			
	査に伴う常任 における意見 等	特になし	(委員からの意見	等)		

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

	1 (Plan) 事務事業の計画											
事務事業名	マポ ―ぃ	, HDIL	点づくり推進事業	会計区分			01 一般会計	-				
チ 切チ ボ ロ	スパン	זעכ	(点) (7) 正進事末	款項目コード(款-項-	9	_	8	_	2			
	基本目標(章)	2	郷土を拓く人を育むまち	事業コード(大一中一	小) 2	_	32	_	06			
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3	スポーツに親しめる環境づくり		基本目標	2	人をひきつ! 気ある"やつ		集う、活			
おける位置づけ) ガー・	施策の展開(項) 【施策】	1	スポーツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目	1	交流人口の	拡大				
	具体的な施策と内容	3	競技スポーツの推進		施策小項目	3	スポーツツー	-リズム(の推進			
事務事業の概要 (全体事業の内容)	とする。 平成19年度から一般財団 「全国小学生ABCバドミン たため中止した。	法ノトン	、会を継続開催することにより、市民の 人地域活性化センターの「スポーツ拠点 大会」の開催を予定していたが、平成2 ハン大会については、八代市において	iづくり推進事業」の 8年4月の熊本地震)承認を受け、平 『の影響により、ī	成28 市総	3年度までの1 合体育館が何	0ヵ年事	業として			
実施手法	〇 全部直営		〇 一部委託	〇 全部委託	 委託							
(該当欄を選択)	● その他(市及び関	[係	機関からなる実行委員会により実施)							
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが	補助金支出で	ある場合	計に記入。			
根拠法令、要綱等												
車業期間	開始年度	開始年度			法令による実施	施義	務 ○ 1 彰	務であ	る			
事業期間 —	平成19年原	芰	平成31年	度	(該当欄を選	【択)	● 2 第	務では	ない			

平成19年度				平成31年度 ● 2 新						ごはない
			2	(Do) 事務	事業の実施	拖				
			評価	対象年度の	り事業内容	等				
	象 何を	日本小学生バドミントン連盟								
		容(手段、方法等)						らしたいのか)		
		E決算額】 62,100円 生パドミントン連盟協議(旅費)			「全国小学生	EABC/ÎFE)	小ン大会」の	平成30、31年	度の継続開作	崔
コスト拍	隹移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
	事:	業費(直接経費)	(単位:千円)	5,708	5,600	62	361	6,000	6,000	
	Г	国県支出金								
	財源	地方債								
	内訳	その他特定財源(特別会計→繰	入金)	4,000	4,000					
		一般財源(特別会計→事業収入	.)	1,708	1,600	62	361	6,000	6,000	

	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	継続開催するために、大会運営に関わった役員等の配置延べ人数	,	計画	-	1325	1200	1200	1200	1200
事業	0		\	実績	1303	1316	983	1216	0	-
活動指標 の活動量・実績の	2			計画	-					
	J)			実績						-
	3			計画	-					
数値化	9			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	1	全国大会出場	全国大会への出場者数が増加するほど、競技力向上が図られたと考えられ	,	計画	-	40	40	45	50	50	
もたられ		者数	ることから、成果指標として設定する。	~	実績		40	41	62	54	-	
ベ果指標 る効果・成果	2	バドミントン 大会出場者数	的にABC大会に出場することは、競技力向上が図ら	\downarrow	計画	1	3	4	4	4	4	
	2	(八代市)	れていると考えられることから、成果指標として 設定する。	~	実績	4	3	3	3	1	-	
	3				計画	-						
の数値化	3				実績						_	
16	〈記述欄〉※数値化できない場合											

3 (Check) 事務事業の自己評価 着眼点 チェック 判断理由 小学生の競技者が、目標とする個人戦最高峰の大会を ● 妥当である 継続開催することで、大会を身近な目標として捉え、 ◆事業実施の妥当性を備えているか 市内競技団体の指導力強化と競技レベルの底上げが図 ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて られることから、総合計画に掲げる「競技スポーツの 概ね妥当である 推進」に結びつく。 いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい ないか) 妥当でない ABCバドミントン大会に本市出身の選手が県代表と ● 有効である して参加するとともに、本市の中学・高校のバドミン トン部は全国でも有数の強豪校となっている。さらに ◆活動内容は有効なものとなっているか は、年齢別日本代表選手や実業団で活躍する選手も輩 ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか 概ね有効である ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 出していることから、事業は順調に推移している。 果をこれ以上伸ばすことはできないか) 有効でない 本事業は、行政と関係競技団体による実施が義務付け ◆実施方法は現行どおりでよいか られていることから、運営を民間に委託することはで ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げず にコストを削減することは可能か ● 現行どおりでよい きない。本事業と類似・関連する事業がないため、統 合・連携はできない。 ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費を削減することは可能か 見直しが必要 ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必 要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)

スポーツ拠点づくり推進事業 Page 2 of 3

	4 (Action)事務事業の方向性と改革改善											
(今後の 方向性 該当欄を選択)	1 不要(廃止) 4 市による実施(要改善)	2 民間実施 ● 5 市による実施(現行どおり)		施(民間委託の抗 施(規模拡充)	広大・市民等との協働等)						
今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 全国から参加する選手や関係者にとって、バドミントン競技の聖地であり、バドミントン競技の交流拠点都市としているさわしい大会になるように実施する。現在の事業を継続実施し、競技団体等と連携を図ることで、八代市のバドミントン選手の競技力を向上させ、全国で活躍する八代市出身選手を数多く輩出する。												
夕	部評価の実施	有:外部評価			実施年度	平成25年度						
改	H28進捗状況	1. 対応済 (廃止含む)		_								
改善進捗状況等	H28取組内容		いて、バドミントンスポーツの強化! ら、八代市の選手を対象とした強化!		るとして「市に	こよる実施(規模拡						
	『審査に伴う常任 [会における意見 等	特になし	(委員からの意見)	等)								

スポーツ拠点づくり推進事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度	平成28年度
--------	--------

			1 (Plan) 事務事業の	D計画					
事務事業名	トップコ	7711――― -	战車業	会計区分		01 -	一般会詞	it	
学 份学术 石	1927	イソード目	八 争 未	款項目コード(款-項-目	9	_	8	_	1
	基本目標(章)	2 郷土を拓・	く人を育むまち	事業コード(大一中一小	2	_	31	_	57
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3 スポーツ(こ親しめる環境づくり		基本目標				
	本事業名								
	具体的な施策と内容	3 競技スポー	ーツの推進		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	強化指定選手」として選考	て選考し、フィジカル・メンタル・栄養学・体力測定など様々な講習会を実施することで、選手等の更なる競技							
実施手法	〇 全部直営	O -	部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	● 補助金(主な補助先:	NPO法人八代i	市体育協会)※予算の全	てが補助	金支出	である場合	に記入。
根拠法令、要綱等									
車業期間	開始年度		終了年度	Ē.	法令による実施	拖義務	O 1	義務である	هٔ
尹未規旧	平成26年原	平成31年	度	(該当欄を選	択)	● 2 =	義務ではな	はい	
_			2 (Do) 事務事業の	実施					
		==							

事業期間	18						本市による)天心我伤		
争未别国	∃J	平成26年度		平	成31年度		(該当欄		● 2 義務で	ぎはない
			2	(Do) 事務	事業の実	拖				
			評価	対象年度の	り事業内容	!等				
対 (誰・何	象	八代市強化指定選手								
事業	内容(月	手段、方法等)			成果目	標(どのような	対果をもたら	らしたいのか)		
・メンタルト ・コアトレー ・フィジカル	トレーニ ーニング ル・メディ	選手育成事業の実施 ング 、筋カトレーニング (カルチェック への助成金交付			出を目指す。		ツが持つ楽し	さや感動をす	等で活躍でき 5民に伝え、ス	
コスト推和	移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
	事業費	(直接経費)	(単位:千円)		2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	
ш	国県	支出金								
	財地方源	債								
	内その	他特定財源(特別会計→繰入	金)							
	— (1 0				2 800	2 800	2 800	2 800	2 800	

トップアスリート育成事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	(1)	八代市強化指定選手の人数	1	計画	-		20	25	25	25
事業	0		~	実績			20	28	27	-
の活	2	八代市強化指定選手の各種講習会回数	回	計画	-		6	10	15	15
活動指標 過量・実績			11	実績			6	21	30	-
の	3	助成金の申請件数	件	計画	-			28	28	28
数 値 化	9		117	実績				28	27	-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	強化指定選手 の国際大会等 出場回数	日本の代表として国際大会へ出場するほど、競技力が向上したと考えられ	回	計画	-		1	1	2	2
もたらそ			るため、成果指標として 設定する。	Ш	実績			2	1	1	-
う	2				計画	-					
成果指標					実績						-
成 果	3				画信	-					
の数値化	3				実績						-
	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								_

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	2020年の東京オリンピック・パラリンピックは、日本国民全体が関心を寄せるイベントであり、八代市においてもスポーツ振興の絶好の機会となることから、オ
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	リンピック等への選手輩出を目指す事業の役割は薄れていない。また、強化指定選手の競技力向上、指導者の資質向上が図れ、市全体の競技レベルの底上げに繋
ないか)	妥当でない	がることから、総合計画に掲げる「競技スポーツの推進」に結びつく。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	選手の育成は一朝一夕に出来るものでなく、年代・種目も多種・多様なことから、それぞれに必要なトレーニング方法の提供などにつなげている。また、選手の
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	競技レベルが向上するにつれ、遠征費等の負担が増大することから、助成金は非常に効果的である。
	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	NPO法人八代市体育協会が実施することで、各競技団体及び各関係機関との連携が図れ、スムーズな事業実施が図れること。また、補助金には人件費等の経費は含まれていないことから、現行どおりで実施することがコスト的にも有効である。
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	

トップアスリート育成事業 Page 2 of 3

		4	(Action) 事務事業の方向性	と改革改善
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(割	グ 同性 亥 当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どお	5り) 6 市による実施(規模拡充)
	後の万何性の		き続き実施する。また、選手個	々の競技特性や競技レベルの上昇に見合った練習環境 大会や合宿等遠征に係る助成費の拡充を図り、更なる
外部	部評価の実施	無		実施年度
改	H28進捗状況			·
改善進捗状況等_	H28取組内容			
			(委員からの意	意見等)
	審査に伴う常任 会における意見 等	特になし		

トップアスリート育成事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

1 (Plan) 事務事業の計画									
事務事業名	フ ポ ー	い歩准す	議会事業	会計区分		01	1 一般会詞	H	
デ1のデ ボロ	X /\(\tau\)	ノルルモ	「哦 女子木	款項目コード(款-項-月	9	_	8	_	1
	基本目標(章)	2 郷土を	拓く人を育むまち	事業コード(大一中一/	2	_	31	_	55
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策】	3 スポー	-ツに親しめる環境づくり		基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	1 スポー	ツの推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目				
	具体的な施策と内容	4 スポー	ツ活動を広げる環境づくり		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	スポーツ基本法第31条の規定に基づき、八代市スポーツ推進審議会を設置し、本市のスポーツの推進に関する重要事項について、の諮問に応じ調査審議、建議し各種事業の推進を図ることを目的とする。 八代市スポーツ推進審議会を開催し、本市のスポーツ推進に関する重要事項について審議してもらう。					て、市長			
実施手法	● 全部直営	0	一部委託	〇 全部委託					
(該当欄を選択)	○ その他()				
補助金事業該当	i 〇 補助金(主な補助先:)※予算の全てが補助金支出である場合に						に記入。		
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、八代市スポーツ推進審議会設置条例 関等 しょうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう								
事業期間	開始年度		終了年度	ŧ	法令による実施	施義務	0 1	義務である	3
事 未規則	平成19年原	芰	未定		(該当欄を選	《択)	• 2	義務では	ない

	事業期間		開始年度	Ę	i	終了年度			実施義務	〇 1 義務で	である
			平成19年	平成19年度			未定		(該当欄を選択)		ごはない
				2	(Do) 事務	事業の実施					
	評価				対象年度0	り事業内容	!等				
	対 象 (誰・何を)										
	事	業内	容(手段、方法等)			成果目	標(どのようた	対果をもたら	らしたいのか)		
	【平成28年度決算額】43,840円						ーツ推進審議 て審議していた				
J	代市	スポー	ーツ推進審議会の開催回数	回(3月)		事項にが	で田城していり	こんと、口性	いい フザ木	0) W H 1/0 1	EECDO.
	コストキ	性移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
	-/ (1)			_	1 (23) (2)	1 1240 121	20 1 12 1/2	201/2/194	, ,,,,,,,,,	, ,,,,,,,,,	1,02,012
		事:	業費(直接経費) 	(単位:千円)	122	103	44	136	262	197	197
	п		国県支出金								
	п	財源	地方債								
	н	内訳	その他特定財源(特別会計-	·繰入金)							
			一般財源(特別会計→事業収	(入)	122	103	44	136	262	197	197

スポーツ推進審議会事業 Page 1 of 3

I			指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		1	審議案件数	件	計画	-	6	5	5	6	6
	事業の	Θ		IT	実績	6	3	3	2	1	-
	の活動 活動	2			計画	-					
	活動指標 動量・実績)			実績						-
	が積の数値	3			計画	-					
	化				実績						-
1		(記	沭欄〉※数値化できない場合								

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1				計画	_					
もたら	•				実績						-
そうとす	2				計画	-					
成果指標 そうとする効果・	٧				実績						-
標 . 成果の	3				計画	_					
数値化	3)				実績						-

八代市のスポーツ振興に関する重要事項の課題や今後の方向性を審議する機関であることから、成果について数値化は難しい。

3 (Ch	eck)事務事業の自	己評価
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか	● 妥当である	市の施策を審議・建議する機関であるため、八代市総合計画に掲げる「スポーツに親しめる環境づくり」に 結びつく。本市のスポーツ振興は、行政のみが進めて
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	いくものではなく、学校体育、社会体育、障がい者、健康医科学といった、様々な関係団体が連携・協働し進めていくことから、事業の役割は薄れていない。ス
ないか)	妥当でない	ポーツ基本法第31条により、地方自治体によるスポーツ推進審議会の設置が規定されているため、市が事業主体であることは妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	平成19年度に審議会を設置し、これまで様々なスポーツ振興に関する案件を諮問し答申をいただき、「八代市スポーツ振興計画」の策定や市のスポーツ振興施策
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	に関する重要な事項を審議頂いた。スポーツ基本法第 31条により、地方自治体によるスポーツ推進審議会の 設置が規定されているため、見直しの余地はない。
XC=10X=11100 CC 00 X 7	有効でない	
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	市長の諮問に応じ、市スポーツの施策に関する重要事項について調査審議・建議する機関であるので、民間委託はできない。本事業と類似・関連する事業がないため、統合・連携はできない。市のスポーツ施策を審議するにあたり、行政・地域・学校・医療など様々な
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	視点から意見を聴取する必要があるため人件費の見直 しはできない。

スポーツ推進審議会事業 Page 2 of 3

		4 ()	Action)事務事業の方向性とな	善
	今後の 方向性	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
(†	プロ性 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
	の収集収書の	推進審議会の答申を受け、平成	題を審議する場として今後も適宜 26年6月に見直し作成した「八代 、審議会に諮問する。また、本審	宜開催していかなければならない。八代市スポーツ 市スポーツ振興計画」が平成29年度で計画期間を 緊議会で関連する事業の進捗状況を確認しながら、
外	部評価の実施	無		実施年度
改	H28進捗状況			•
改善進捗状況等	H28取組内容			
	審査に伴う常任 会における意見 等	特になし	(委員からの意見€	

スポーツ推進審議会事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度	平成28年度
--------	--------

1 (Plan) 事務事業の計画											
事務事業名	社会体	社会体育団体補助金事業				01 一般会計					
予切于 未口	1 五天体				9	_	8	_	1		
	基本目標(章)	2 郷土を拓く	〈人を育むまち	事業コード(大一中一	(۱۰) 2	_	31	_	56		
WONE	施策の大綱(節) 【政策】	3 スポーツに	こ親しめる環境づくり		基本目標						
(八代市総合計画に おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】	1 スポーツの	推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目						
	具体的な施策と内容	4 スポーツ活	動を広げる環境づくり		施策小項目						
事務事業の概要 (全体事業の内容)											
実施手法	● 全部直営	〇 一部	鄂委託	〇 全部委託							
(該当欄を選択)	○ その他()						
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:)※予算の全	てが補	助金支出	である場合	に記入。		
根拠法令、要綱等											
市	開始年度		終了年度	法令による実施義務		O 1	義務である	5			
事業期間	合併前		未定		(該当欄を選	【択)	• 2	義務では	ない		

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 NPO法人八代市体育協会、八代市スポーツ推進委員協議会 対 象 (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 【平成28年度決算額】5,504千円 NPO法人八代市体育協会の活動支援を行うことにより、競技力の向上、競技人口の拡大を推進する。また、八代市スポーツ推進委員協議会の活動支 (事業内容) ONPO法人八代市体育協会補助金 援を行い、スポーツ活動から遠ざかっている方、また子どもから高齢者まで、 4,200千円 多くの市民がスポーツに親しめる環境を整える。 〇八代市スポーツ推進委員協議会補助金 1,304千円 コスト推移 26年度決算 27年度決算 28年度決算 29年度予算 30年度見込 31年度見込 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 5,559 5,421 5,502 5,504 5,559 5,559 5,559 国県支出金 財 地方債 源 内 その他特定財源(特別会計→繰入金) 訳 5,559 般財源(特別会計→事業収入) 5,421 5,502 5,504 5,559 5,559 5,559

社会体育団体補助金事業 Page 1 of 3

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業	1	競技力向上推進事業開催回数	回	計画	-	380	520	600	600	600
			Ш	実績	368	502	570	532	313	_
の活	2	ニュースポーツ普及事業開催回数	回 実績	-	15	12	12	14	14	
活動指標 計算: 実績				実績	15	10	10	6	4	-
の	3			計画	1					
数值化	3			実績						-

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	道事員	競技力向上推 進事業参加人 員	強化練習や指導者講習会 を実施することにより優 秀な選手、指導者の育成	Д	計画	-	9800	11500	11500	12000	12000
もたらそうとす			が進んだと考えられるため指標として設定する。		実績	9677	11262	11416	10164	539	-
	2	ニュースポーツ普及事業参加者	地域で開催される講習会に多くの方が参加することでスポーツに対する関	Α -	計画	ı	1100	800	800	900	900
成果指標 ・			心が高まったと考えられるため指標として設定する。		実績	1065	732	738	523	250	_
標・成果の数値化	3				計画	-					
	3				実績						_

〈記述欄〉※数値化できない場合

3 (Check)事務事業の自己評価									
着眼点	チェック	判断理由							
◆事業実施の妥当性を備えているか ************************************	● 妥当である	NPO法人八代市体育協会や八代市スポーツ推進委員協議会の活動を支援することで、本市のスポーツ活動の推進及び市民がスポーツに親しめる環境づくりなど、							
・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合してい	概ね妥当である	八代市総合計画に掲げる「スポーツに親しめる環境づくり」に結びつく。							
ないか)	妥当でない								
	● 有効である	競技スポーツについては、県民体育祭で毎年複数の種目で優勝し、総合成績では常に上位に入賞するなど、 着実に競技力は向上していると考えられる。また、							
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	ニュースポーツの指導派遣依頼件数や用具の貸し出し件数等年々増加傾向にあることから市民のスポーツへの関心も向上傾向にある。							
3.C = 103.E 11.6.7 = E.6. CE 6.C W 7	有効でない	また、更に効果を上げるためには、選手とともに指導者の育成もこれまで以上に積極的に取り組む必要があると考えている。							
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か	● 現行どおりでよい	両団体とも本市のスポーツ振興において中心的組織であり、専門性を有する団体であることから、民間委託や非常勤職員等の対応は考えにくい。 また、本事業と類似・関連する事業がないため、統合・連携はできない。							
・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要	多くの市民がスポーツに親しめる環境づくりを推進するための補助金交付であるため、受益者負担の見直 しの余地はないと考えられる。							

社会体育団体補助金事業 Page 2 of 3

		4 (Ac	tion)事務事業の方向性と改革	革改善					
今後の 方向性		1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実	施(民間委託の排	広大・市民等との協働等)			
	闌を選択)	● 4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実	施(規模拡充)				
今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など)									
外部評	価の実施	有:外部評価				平成23年度			
改 H28	3進捗状況	1. 対応済 (廃止含む)		-					
改善進 抄 状 况 等	八代市スポーツ推進委員協議会やNPO法人八代市体育協会といったスポーツ団体と協力・連携を図ることで、市民のスポーツへの関心を高め、多くの市民が「スポーツに親しめる環境づくり」を通してスポーツの普及・推進を図る。 ***********************************								
			(委員からの意見等))					
委員会に	に伴う常任 おける意見 等	特になし							

社会体育団体補助金事業 Page 3 of 3

事務事業票

所管部長等名経済文化交流部長 辻本 士誠所管課・係名スポーツ振興課 振興係課長名下村 孝志

評価対象年度 平成28年度

1 (Plan) 事務事業の計画											
事務事業名	大扫描ファ	ポーツ大会等	李本及李	会計区分			01 一般会	計			
デ1のデ ボロ	八元大八	N JAX	的双手术	款項目コード(款-項-	∄) 9	_	8	_	2		
	基本目標(章)	2 郷土を拓く	く人を育むまち	事業コード(大一中一/	(۸)	_	32	_	02		
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	施策の大綱(節) 【政策】	3 スポーツに	こ親しめる環境づくり		基本目標	2	人をひきて 気ある"や)け、人が! つしろ"	集う、活		
	施策の展開(項)【施策】	1 スポーツの	推進	総合戦略での 位置づけ	施策大項目	1	交流人口の	の拡大			
	具体的な施策と内容	4 スポーツ活	動を広げる環境づくり		施策小項目	3	スポーツツ	/一リズム(の推進		
事務事業の概要 (全体事業の内容)											
実施手法	● 全部直営	〇 一 自	『委託 ○ 全部委託								
(該当欄を選択)	○ その他()						
補助金事業該当	〇 補助金(主な補助先:		_)※予算の全	てが	補助金支出	である場合	に記入。		
根拠法令、要綱等											
事業期間	開始年度		終了年度	法令による実施義務		 O 1	義務であ	る			
争耒期间	平成28年月	芰			(該当欄を選択)		• 2	義務では	ない		

2 (Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業内容等 〇大規模スポーツ大会・合宿等(2019女子ハンドボール世界選手権大会及び全国高等学校総合体育大会(バドミントン・アーチェリー)及び2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ等) (誰・何を) 事業内容(手段、方法等) 成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 【平成28年度決算額】495,381円 競技レベルの高いスポーツ大会等に接することで、市民がスポーツに対する る。また、市外、県外から八代市へ多くの方々が来訪されることで、交流人口の拡大を図り地域の活性化にも大きく寄与する。 ○2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致 コスト推移 | 26年度決算 | 27年度決算 | 28年度決算 | 29年度予算 | 30年度見込 | 31年度見込 | 32年度見込 事業費(直接経費) (単位:千円) 495 6,026 4,000 150,000 4,000 国県支出金 1,228 財 地方債 源 その他特定財源(特別会計→繰入金) 訳 4,000 般財源(特別会計→事業収入) 495 4,798 4,000 150,000

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標 事業の活動量・実績の数	1	大規模スポーツ大会等の誘致活動件数		計画	-				5	6
				実績					5	-
	2			計画	-					
				実績						_
	3			計画	-					
値化				実績						-
数 值	3	NA IBBA MARIE III - A LA L		実績						

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1		ト等による ど、スポーツの普及と交		計画	-				90,000	100,000
もたらそ		施設等:12施設)	して設定。		実績					97,340	-
う	2				計画	-					
成果指標 シとする効果・					実績						_
標の数値化	3				計画	-					
					実績						_
10	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

3 (Check)事務事業の自己評価									
着眼点	チェック	判断理由							
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか	● 妥当である	大規模なスポーツ大会を開催することで、市民が広く スポーツについて感心を深め、高いレベルの競技選手 の技術に触れることで競技スポーツの推進が図られ							
・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れて いないか	概ね妥当である	る。併せて、大規模スポーツ大会の開催等を通じ、交 流人口の拡大、都市イメージのアップ、賑わいの創出							
・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	妥当でない	に寄与することから、市の上位施策に結びつく。 							
◆活動内容は有効なものとなっているか	● 有効である	平成31年度に本市開催予定の2019女子ハンドボール世界選手権大会、全国高等学校総合体育大会(バドミントン・アーチェリー)の開催に向け準備を進めてお							
・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成 果をこれ以上伸ばすことはできないか)	概ね有効である	り、計画どおりに推移している。一方で、新たなスポーツ大会等の誘致活動や補助金といったインセン							
未でこれの上 iffica y ここは くこっぱいがり	有効でない	ティブな部分について、発展的な見直しを検討する必要がある。 							
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコス	● 現行どおりでよい	事業を進めるにあたり必要最小限の予算を計上しているので、これ以上の削減余地はない。							
トの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必 要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	見直しが必要								

		A ((Action) 事務事業の方向性とご	h	
		7 (ACTION 手伤手未以刀叫工Cu	以甲以普	
	今後の	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の	拡大・市民等との協働等)
(方向性 該当欄を選択)	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
	後の方向性の 由、改革改善の 取組等	アーチェリー)の開催に向け鉤	取組ともたらそうとする効果など) 019女子ハンドボール世界選手権力 記意準備を進める。加えて、スポー 別出、都市イメージのアップ、交別	-ツ大会等の積極的な誘致・	
9	ト部評価の実施	無		実施年度	平成29年度
改	H28進捗状況				
改善進捗状況等	H28取組内容				
	算審査に伴う常任 員会における意見 等	特になし	(委員からの意見)	等)	